

奈良新『都』
づくり戦略

2020・10



©NARA pref.

奈良県知事 荒井 正吾

はじめに

県政の目指すべき姿を「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」こととし、その実現のために全力で取り組んでまいりました。

今回の新型コロナウイルス感染症の拡大を1つの契機として、大阪などの大都市に依存してきた本県の経済・社会の現状を見直し、地域の自立が求められていると改めて感じています。

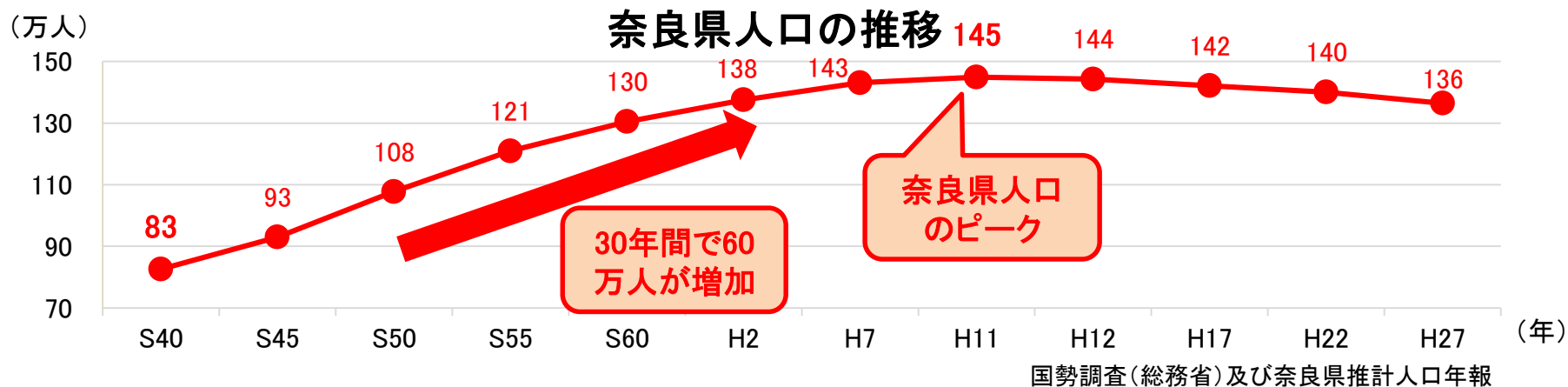
このような時代においても、都づくり戦略に盛り込まれた諸施策を着実に実行することこそが地域の自立につながると考え、今年2月に発表した「奈良新『都』づくり戦略2020」に、「地域デジタル化の推進」や「新たな生活様式」に対応する取組などを盛り込み、この度、「奈良新『都』づくり戦略2020・10」を中間的にとりまとめました。

この資料は、皆様方からさらなる智恵のお布施を賜るための托鉢の鉢です。

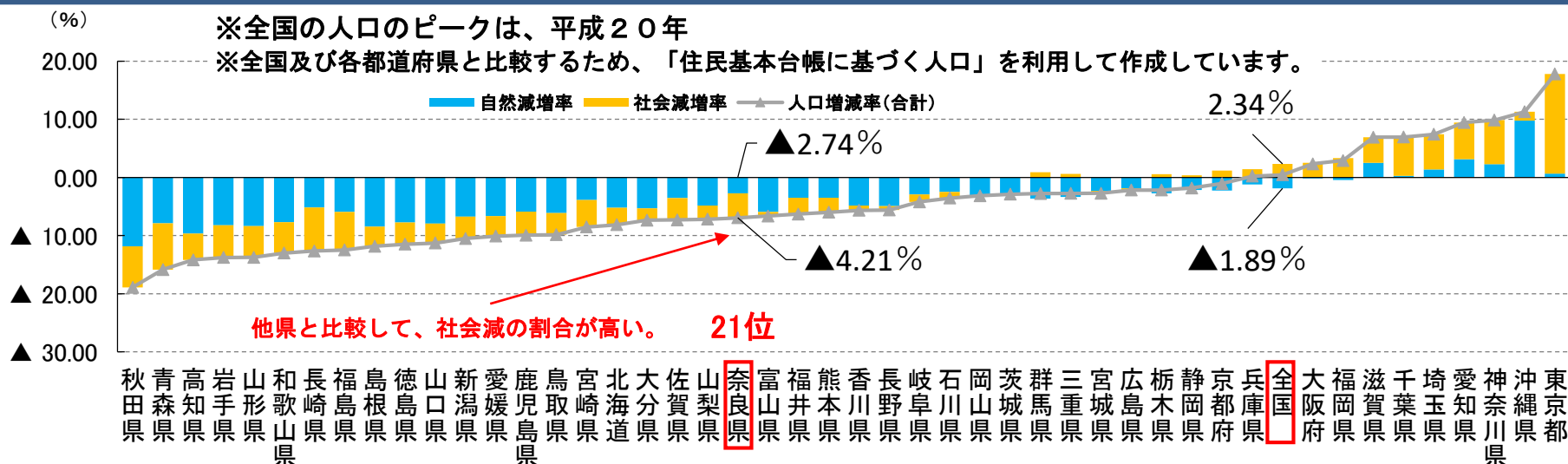
県民の将来に御利益のある「智恵のお布施」を期待しています。

これまでの奈良県の立ち位置の確認

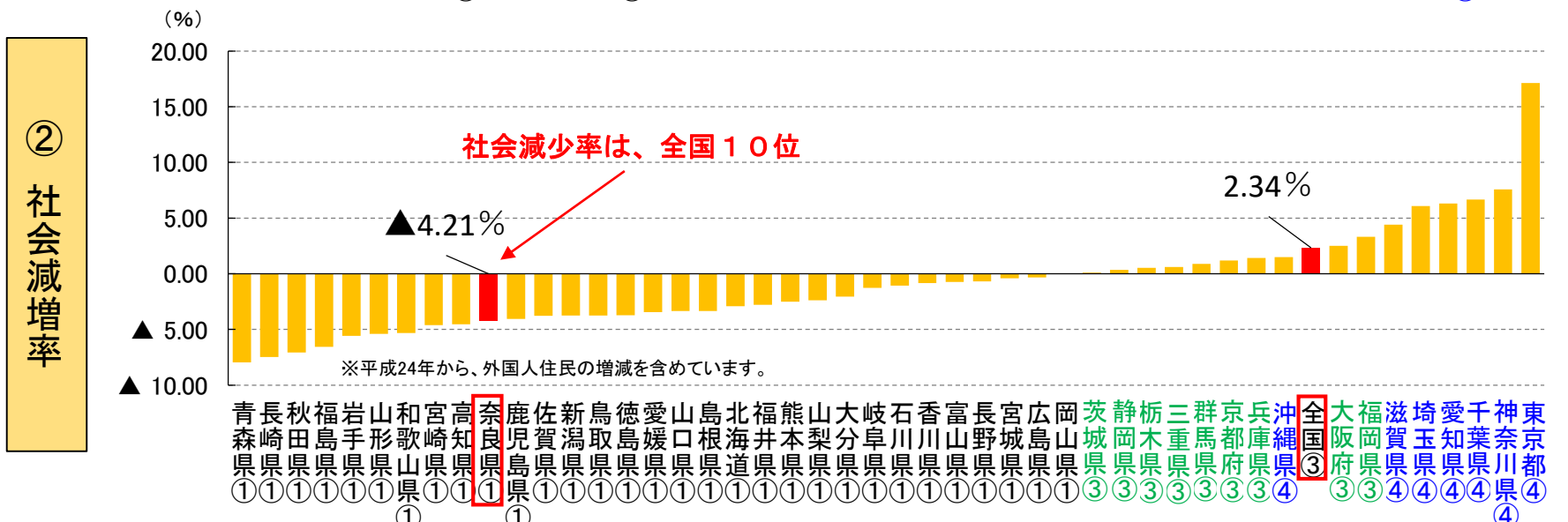
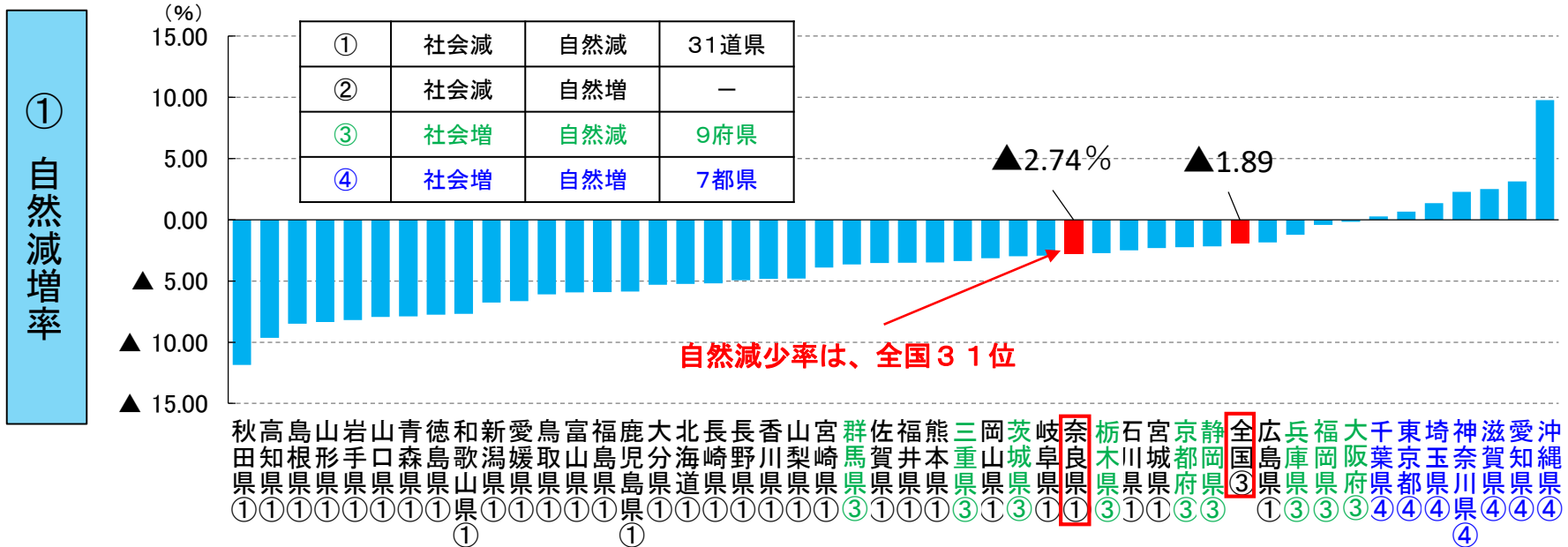
1. 50年前から20年前までの30年間、県北部・西部地域を中心とする急激な人口増加(社会増中心)がありました、今人口減少に襲われています。



2. 過去20年間の奈良県の人口の減少率は減少の大きい方から21位

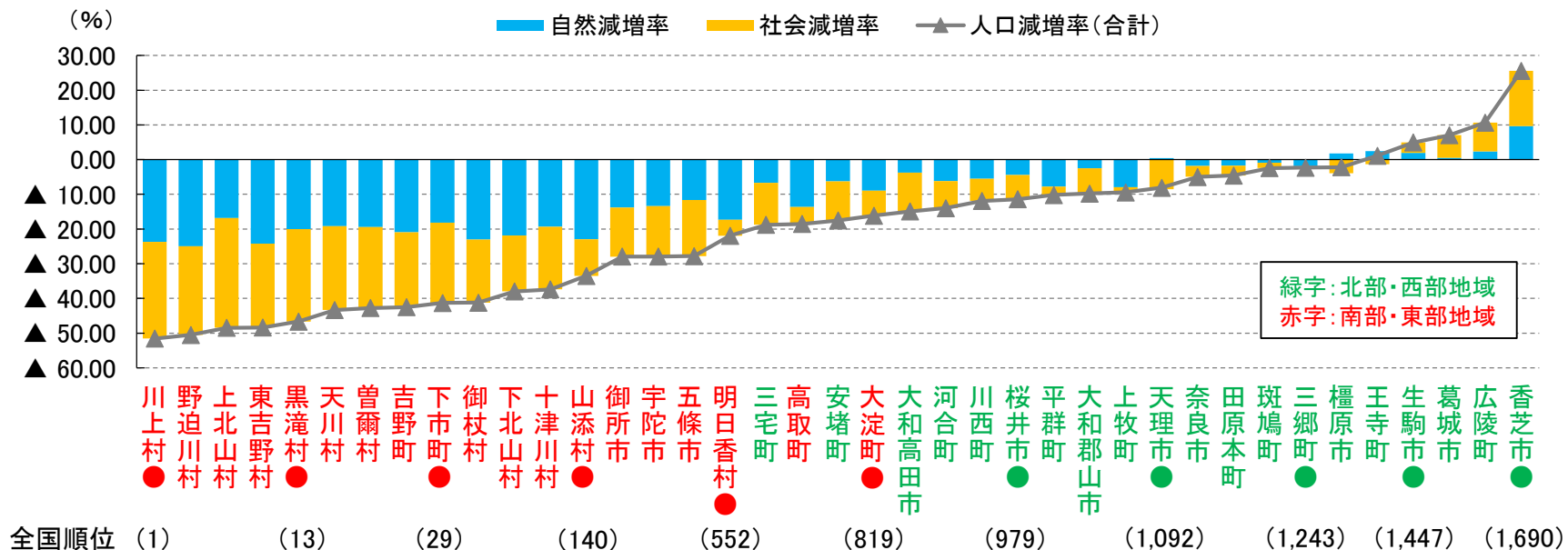


3. 過去20年間の奈良県の人口減少は、社会減が自然減より大きい。 (社会減は若者が中心で、次の自然減を招く可能性がある。)

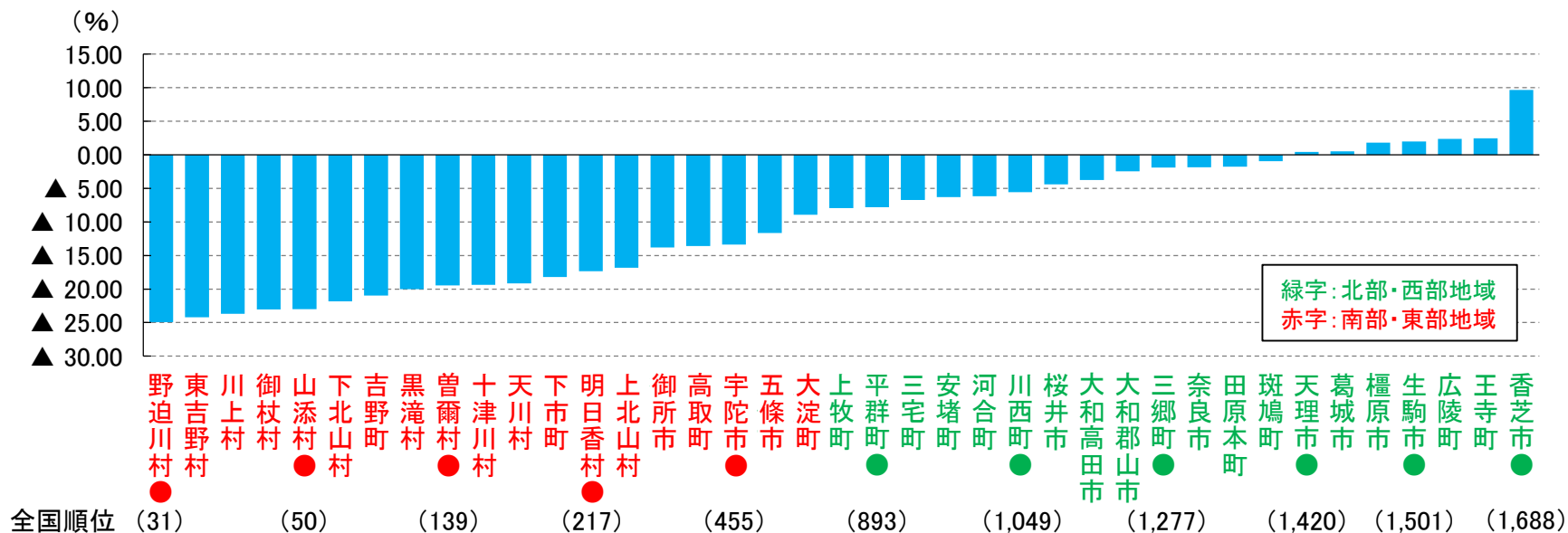


4. 過去20年間の県内市町村の人口減少率と全国市町村(1,741)中の順位

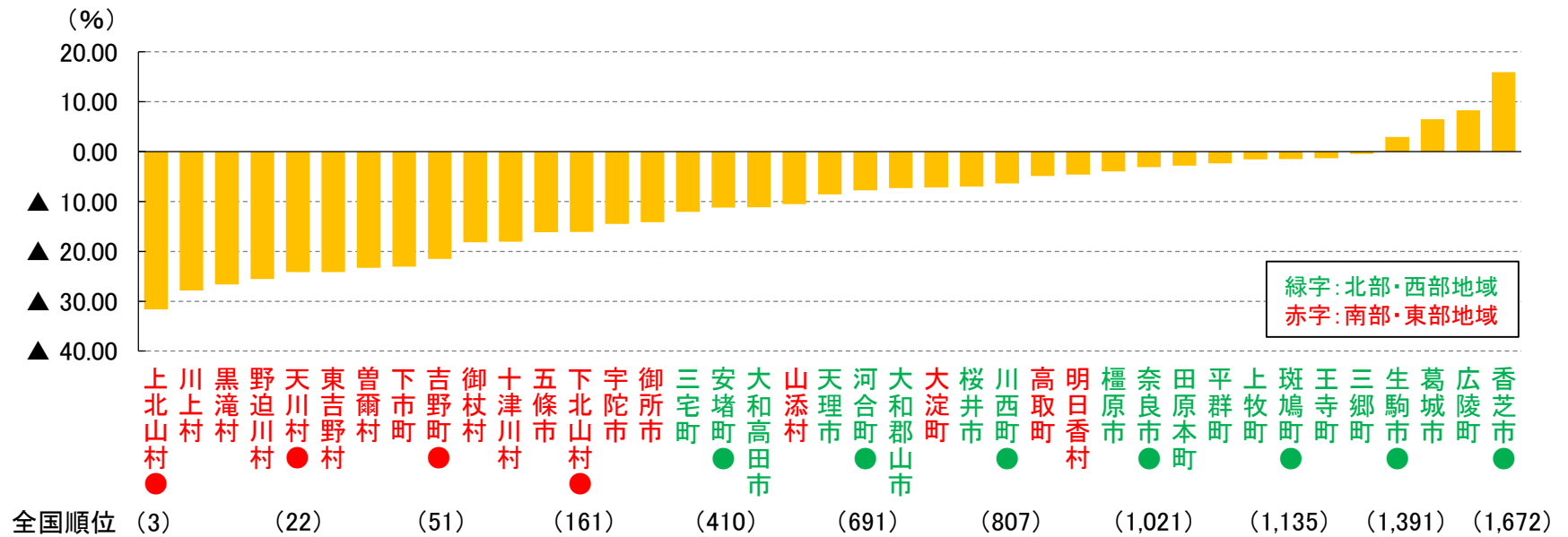
① 人口減増率



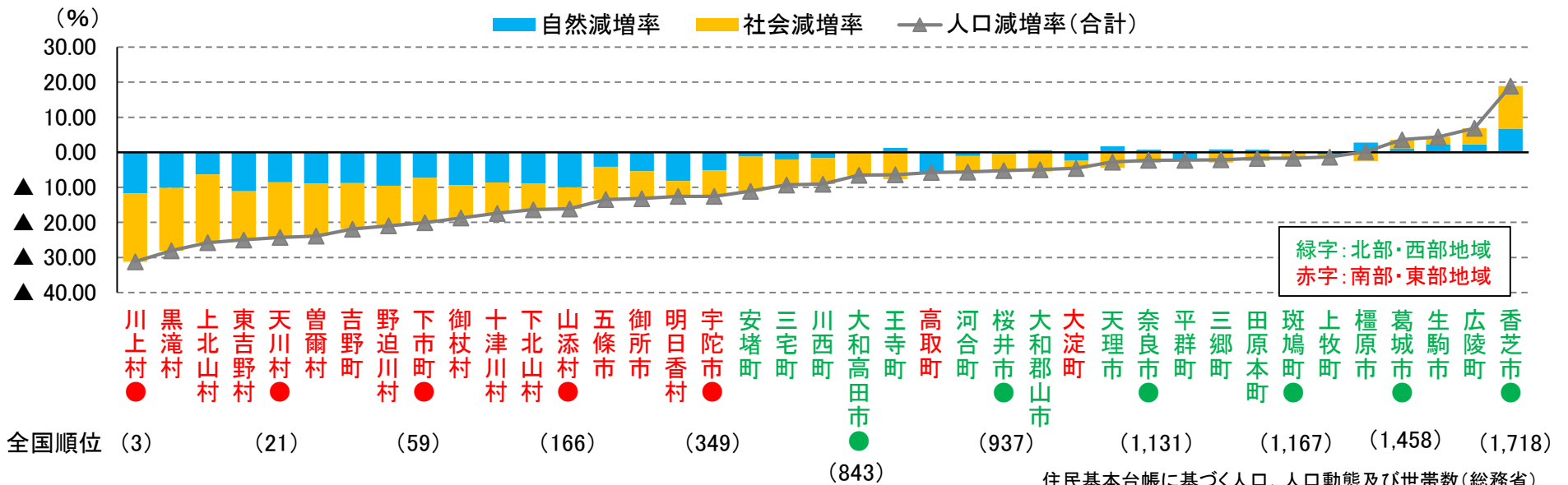
② 自然減増率



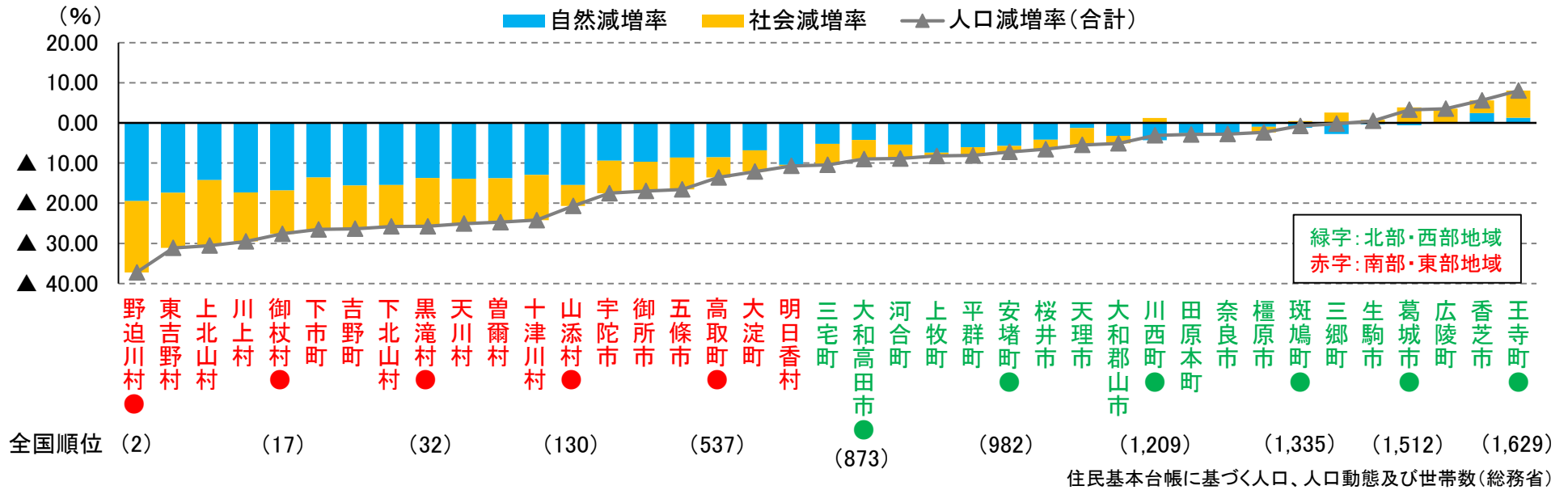
③ 社会減増率



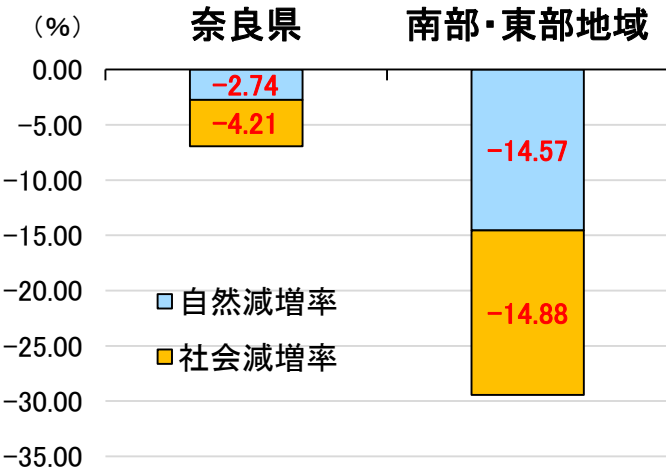
平成12年～平成21年 10年間の社会減増・自然減増



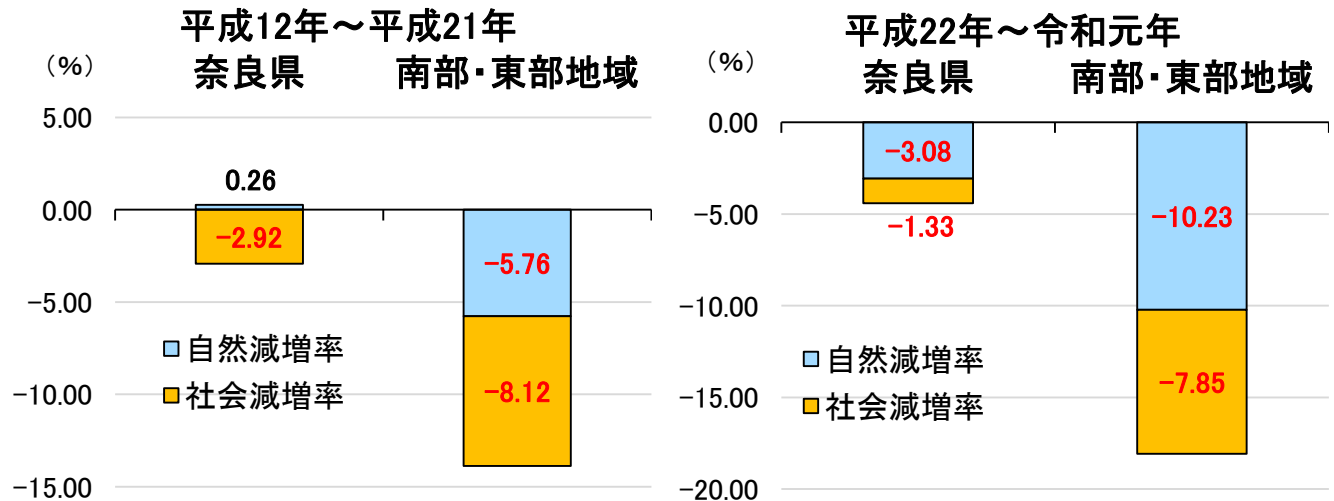
平成22年～令和元年 10年間の社会減増・自然減増



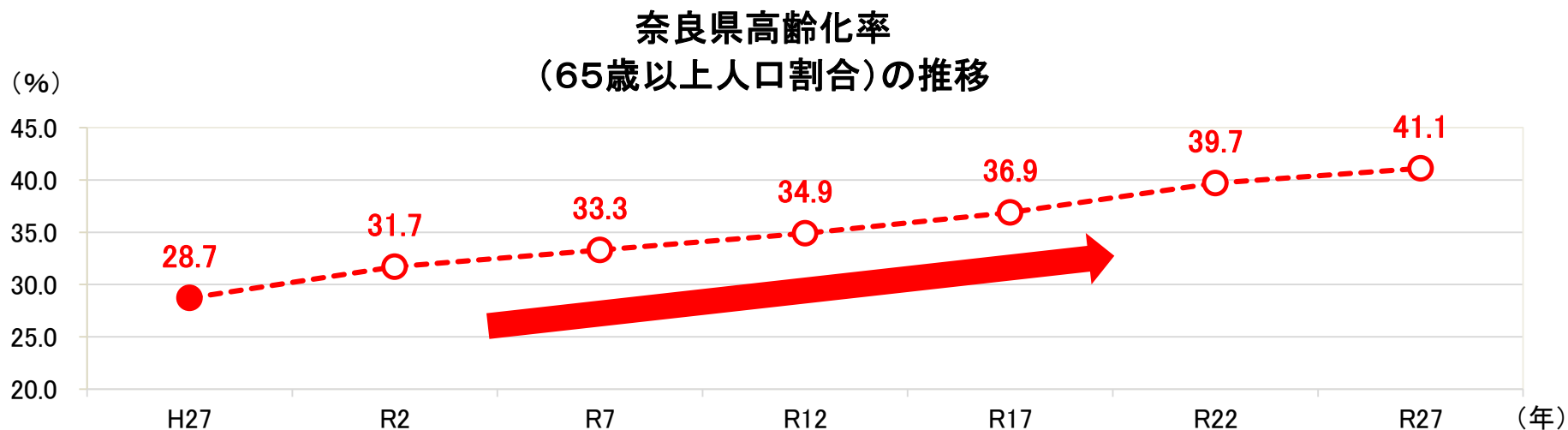
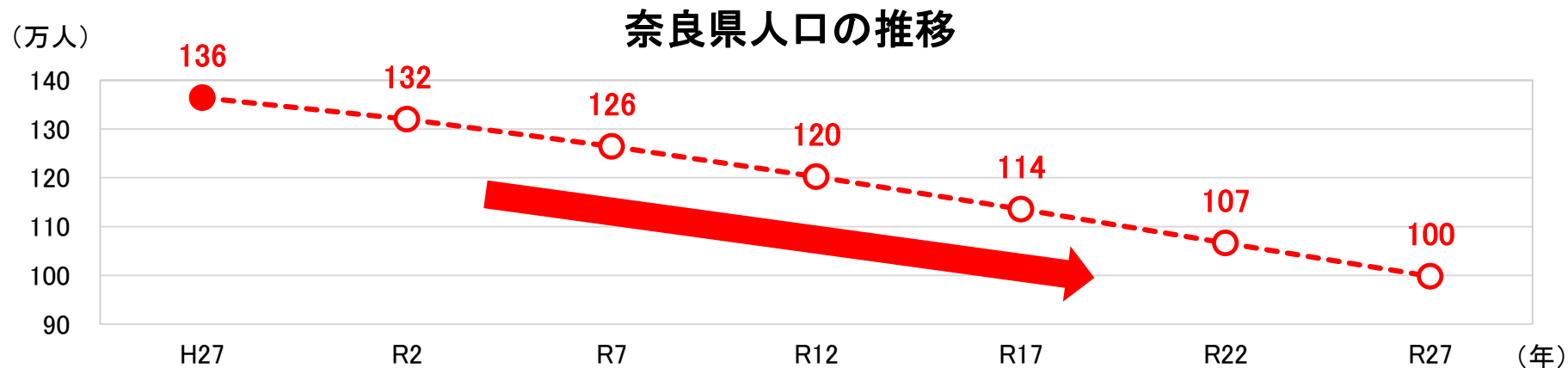
過去20年間の人口の減増率 南部・東部地域と奈良県



過去10年ごとの人口減増の比較

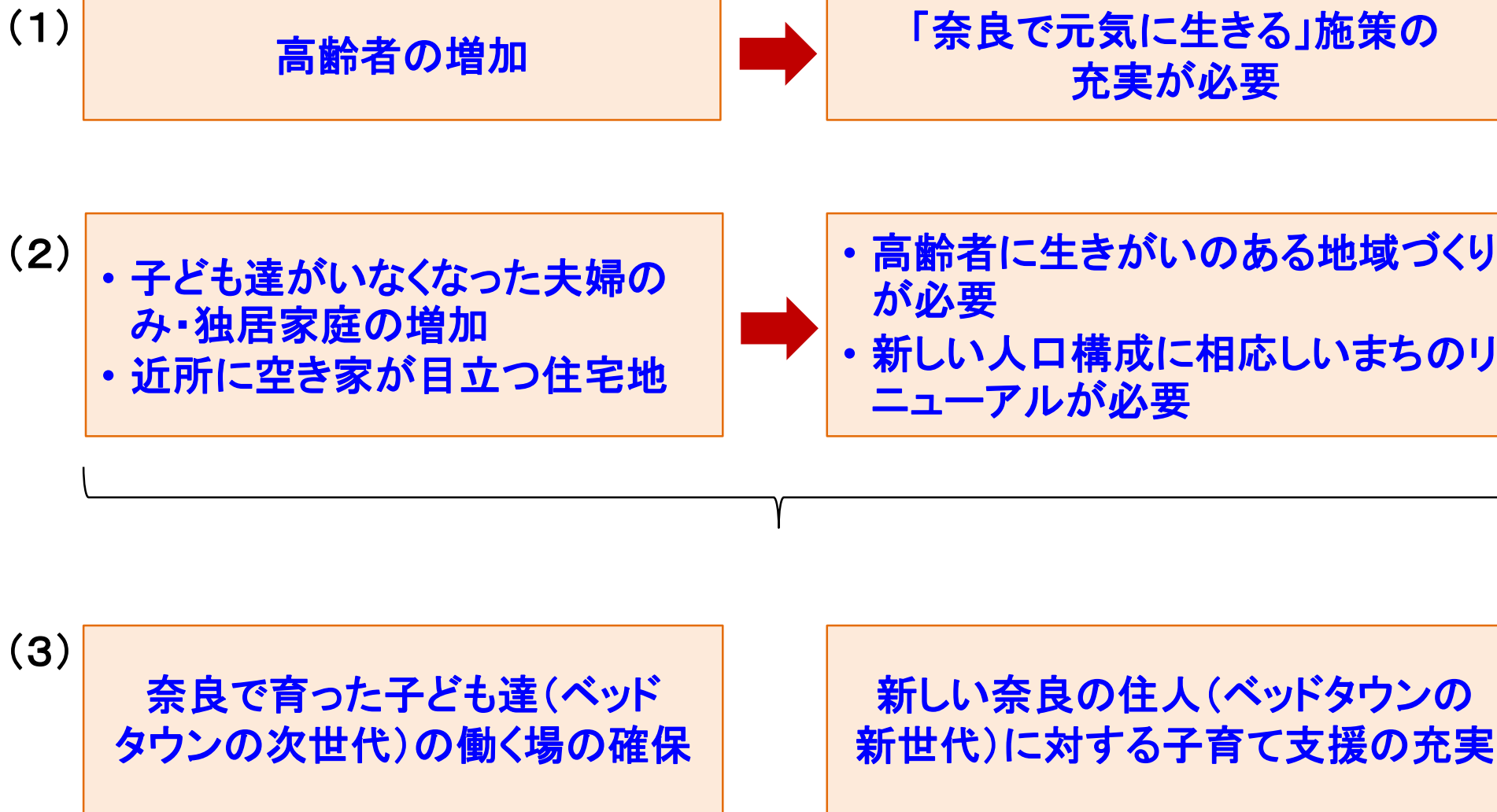


5. これから、急激な人口減少・急速な高齢化が奈良県を襲います。
(人口の社会減少は自然減少に先行する。)



H27: 国勢調査、R2~R27: 国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口」国立社会保障・人口問題研究所

6. 今、奈良県は成熟したベッドタウンと同様の諸課題に直面。
次の世代への対応が必要。



7. 諸課題に立ち向かう糧となる、全国順位が上位の統計指標

・工場立地件数 **8位**

(R1:奈良県32件、全国計990件)

・障害者雇用率 **1位**

(R1.6:奈良県2.79%、全国平均2.11%)

・外国人旅行者数 **5位**

(R1:奈良県328万人、全国計6,038万人)

・持ち家比率 **6位**

(H30.10:奈良県74.1%、全国平均61.2%)

・世帯主の勤め先収入

(勤労者世帯1ヶ月平均) **10位**

(R1:奈良県453,705円、全国平均438,263円)

・貯蓄現在高(総世帯1世帯当たり) **1位**

(H26:奈良県17,816千円、全国平均14,520千円)

・男性の家事関連従事時間(1日平均) **3位**

(H28:奈良県50分、全国平均45分)

・がんの75歳未満年齢調整死亡率 **4位**

(H30:奈良県65.1人、全国平均71.6人)

・健康寿命(男性、65歳平均自立期間) **4位**

(H30:奈良県18.49年、全国平均18.03年)

・スポーツに取り組む人の割合 **8位**

(H28:奈良県69.5%、全国平均68.8%)

・芸術・文化を行う県民の割合 **5位**

(H28:奈良県12.8%、全国平均11.7%)

・大学・短大等進学率 **7位**

(H31.3:奈良県59.4%、全国平均54.7%)



8. 奈良県政のこれからの主たるテーマは

1. 県内で育った人に県内で働く場を確保
～県内で育ち働く、人の循環を～

2. 生活に、観光に自然歴史文化資源を
活用
～住んで好し、訪れて好しの奈良県に～

3. 新旧世代に住みよく、まちをリニューアル
～一粒で2度おいしい奈良のまちに～

4. 遅れている交通基盤を充実
～道路を良くし、奈良に賑わいを～

5. 健康で愉しく一生すごせる奈良県に
～健康寿命日本一に～

6. 生涯よく学び続けられる地域に
～よく学んで奈良を楽しむ～

7. 農村・森林を
大切に
～奈良の自然を敬う
～

8. 南部・東部を
元気に
～南部・東部振興は
県政の本務～

9. 行政サービスを効率的に進める
～奈良モデルで行政資源を総動員～

「奈良県の力底上げ」を実行

奈良県の力底上げプロジェクト

人口動態や経済社会情勢が大きく変化する中、県民満足度調査や都道府県別ランキング、エビデンスから、県の強み・弱みを分析し、目指すゴールを明らかにした上で、体系化した戦略を策定し、県内の行政資源（人材、財源、ファシリティ）を総動員して「奈良県の力底上げ」を図る。

奈良県内の行政資源

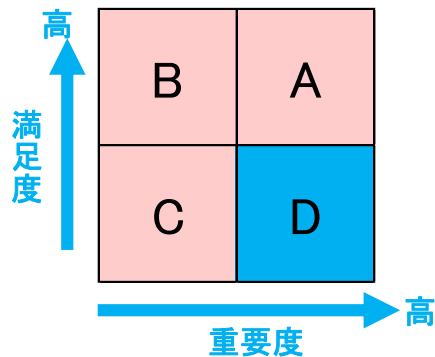
人材	職員	県 15,098人	市町村 12,626人	合計 27,724人(令和元年度)
財源	決算	県 4,936億円	市町村 5,358億円	合計 10,294億円(平成30年度)
ファシリティ	施設	県 722カ所	市町村 5,029カ所	合計 5,751カ所(令和元年度)

「奈良県の力底上げ」の実行には

1. 目指すゴールの選択(ターゲティング)

(1) 県民満足度調査から「重要だが不満の項目」を優先して選択

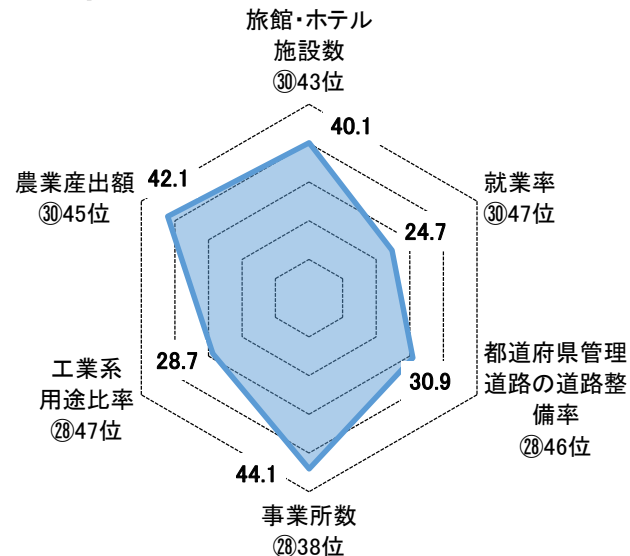
- ・ 県民アンケートにおける重要度が高く、満足度の低いD象限の項目把握



- ・ 重要度が高く満足度の低い項目(満足度の低い順)

- ①市町村行政に対する住民意向の反映
- ②多様な就業環境の整備
- ③高齢者・障害者が安心できるまちづくり
- ④公共交通の利便性
- ⑤失業者の不安がない社会づくり
- ⑥自主防災対策の充実
- ⑦安心できる周産期医療体制
- ⑧防災対策の充実
- ⑨障害者支援サービスの充実

(2) 都道府県別ランキングから「ランキング下位」を優先選択



- ①宿泊施設数 43位 → ホテル誘致、食の振興、観光振興
- ②就業率 最下位 → 働き方改革、子育て支援
- ③道路整備率 46位 → 交通基盤の充実
- ④事業所数 38位 → 働く場の確保
- ⑤工業系用途比率 最下位 → 工場誘致、工業ゾーンの創出
- ⑥農業産出額 45位 → 農業振興

(3)エビデンスから選択

○奈良県の強み・弱みを分析、強みを伸ばし、弱みを補強する

奈良県の強み

豊かな自然環境



観光交流の促進

3つの世界遺産をはじめとして文化遺産が豊富



歴史文化資源活用分野と芸術文化振興分野に力点を置いた施策の推進

大学進学率が高く、専門的な知識を持った人材が多い



県内での新たなしごとの創出(起業支援)

奈良県の弱み

女性の就業率が全国最下位



女性の活躍推進のための支援・啓発

宿泊施設の施設・客室数ともに少ない



宿泊産業の育成、支援

県有施設のほぼ半数が築後30年以上経過し、老朽化が進行



ファシリティマネジメント(FM)の推進

2. 戦略を策定(プログラミング)

- ①ターゲットのデータ収集・分析
- ②現場と接触、現場感覚強化
- ③市町村のイニシアティブを尊重
- ④困難を糧に失敗から学習
- ⑤関係者と目標共有、行動共同のプロセス
- ⑥仕事から学ぶ
- ⑦まず勉強会から

3. 戦略の実行(インプリメンテーション)

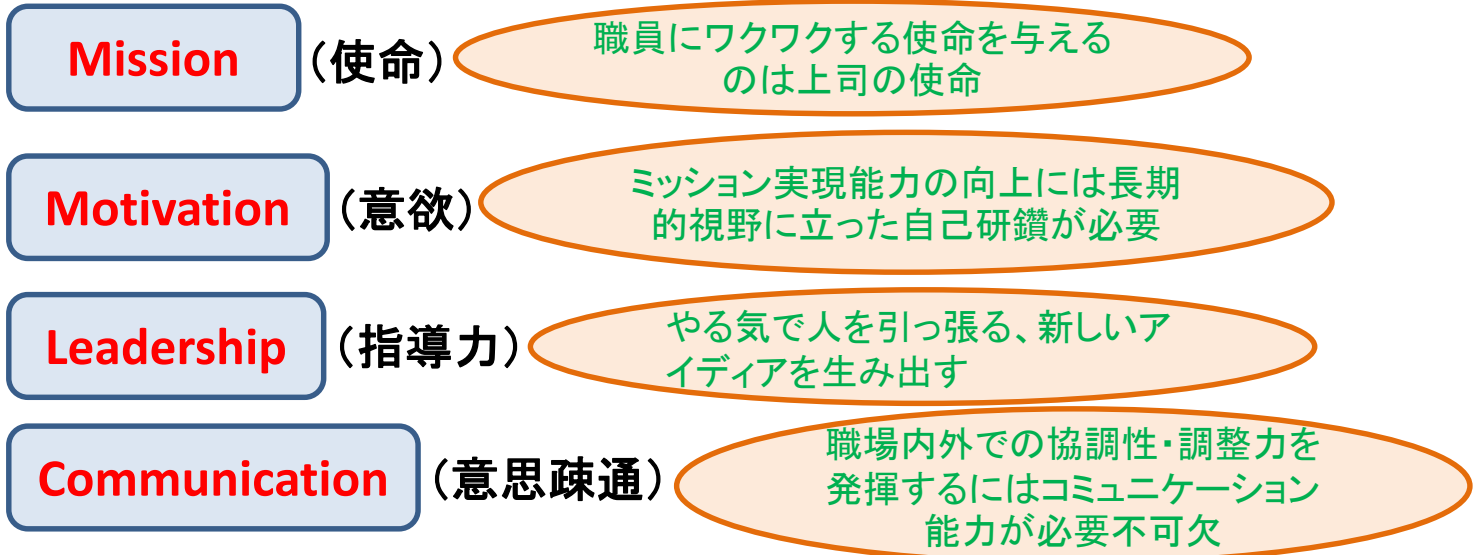
- ①選択と集中
- ②国の力を借りる
- ③関係者の力を結集する
- ④プロセスをモニターする
- ⑤常に改善を加える

奈良県庁の流儀に磨きをかけ、県内行政資源総動員 (奈良県の力を底上げし、奈良モデルを実行)

奈良県庁の流儀

- ①統計重視(データを収集・分析してエビデンスをつくる)
- ②現場重視(現場が良くなないと仕事をしたことにはならない)
- ③頑張る市町村を助ける(賢く考えて良く走るミッドフィルダーになる)
- ④失敗することを恐れない精神(リスクを先読みして立ち止まることはしない)
- ⑤プロセス重視(目標共通化、行動共同化、モニタリングで結果検証)
- ⑥人材を育てる(生涯世の役に立つ人を育てる)
- ⑦高度の知賢を集める(まず学ぶことから)

奈良県庁の人材育成の考え方(パーソネルマネジメント)

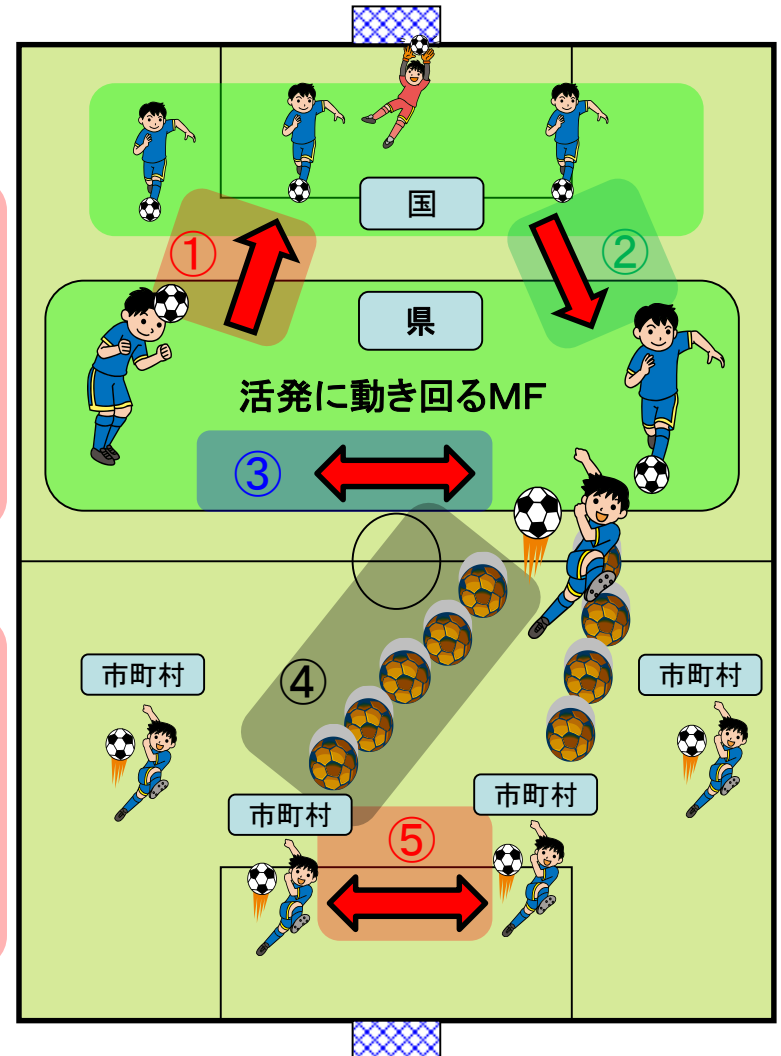


地域の行政資源(人材)を総動員する(奈良モデル)

県の役割＝賢く考えてよく走るMF

- ① 国にお願いする(陳情)
- ② 国の力を借りる(予算、助言)
- ③ 庁内の横パスを重視(庁内連携、プロジェクトチームづくり)
- ④ **市町村へのキラーパス**で市町村が得点(奈良モデルの財政支援、技術支援)
- ⑤ 市町村間の広域連携も支援
- ⑥ ピッチ外で考える人も必要

県の役割のイメージ



データを
収集分析

⑥



よく考える
スコアラー

⑥

○戦略の体系

9つの都『九条大路戦略』
28の坊『28坊戦略』
155の街『155街戦略』

＝新平城京戦略

I 栄える「都」をつくる

～奈良県経済の好循環を促し、働きやすく、就業しやすい奈良県にする～

1 地域経済活性化 (1)～(8)

2 働き方改革の推進と就業支援 (9)～(12)

II 賑わう「都」をつくる

～奈良が有する自然・歴史・文化資源を活用し、観光産業を振興する～

3 滞在型観光の定着 (13)～(19)

4 魅力ある観光地づくり (20)～(30)

5 観光奈良の魅力向上・発信 (31)～(35)

III 愉しむ「都」をつくる

～県民が安心して快適に暮らし続けられる奈良をつくる～

6 「安全安心な地域」づくり (36)～(41)

7 「きれいな奈良県」づくり (42)～(47)

8 暮らしやすいまちづくり (48)～(52)

9 地域で子どもを健やかに育てる (53)～(57)

10 女性活躍の推進 (58)～(61)

11 エネルギー政策(62)～(63)

IV 便利な「都」をつくる

～県土マネジメントを推進し、効率的で便利な交通基盤をつくる～

12 道路整備 (64)～(79)

13 鉄道整備 (80)～(84)

14 バス輸送環境整備 (85)～(86)

V 健やかな「都」をつくる

～健康寿命日本一を目標に、高齢者、障害者を含む、誰もが健やかに暮らせる地域をつくる～

15 健康寿命日本一を目指した健康づくり (87)～(89)

16 地域医療の総合マネジメント・地域包括ケアの充実(90)～(96)

17 福祉の充実 (97)～(100)

18 だれでもいつでもどこでもスポーツできる環境づくり (101)～(103)

VI 智恵の「都」をつくる

～すべての県民が、生涯良く学び続けられ、奈良の歴史文化に親しめる地域をつくる～

19 教育の振興 (104)～(113)

20 文化財の保存・活用、文化財の防災、文化の振興 (114)～(120)

21 海外との交流展開 (121)～(123)

VII 豊かな「都」をつくる

～県内の農・畜産・水産業・林業の振興、農村活性化、森林を護る施策を進める～

22 農業・農地・農村・食と農の振興 (124)～(129)

23 畜産・水産業振興 (130)～(132)

24 森林環境管理・林業振興 (133)～(136)

VIII 誇らしい「都」をつくる

～交流、定住の促進により、南部地域・東部地域を、頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる地域にする～

25 南部・東部の振興 (137)

IX 爽やかな「都」をつくる

～奈良が持つ行政資源を総動員し、効率的・効果的な行財政マネジメントを行い、行き届いた行政サービスを届ける～

26 奈良モデルの実行 (138)～(147)

27 行政マネジメント (148)～(152)

28 財政マネジメント (153)～(155)

I 栄える「都」をつくる

～奈良県経済の好循環を促し、働きやすく、就業しやすい奈良県にする～

1 地域経済活性化

- (1) 工場誘致
- (2) 工業ゾーンの創出
- (3) 奈良県版クラスター型産業集積の形成
- (4) 起業支援
- (5) 県産業振興総合センターによる
県内産業への研究支援強化
- (6) 県産品の海外販路、国内販路の拡大
- (7) 商業振興・商店街活性化
- (8) 奈良県経済産業振興大綱の策定

2 働き方改革の推進と就業支援

- (9) 奈良県版働き方改革、職場環境改善、
職業能力開発
- (10) 県内就業支援・離職者再就職支援
- (11) 障害者雇用対策の推進
- (12) 外国人労働者県内定着対策

1 地域経済活性化

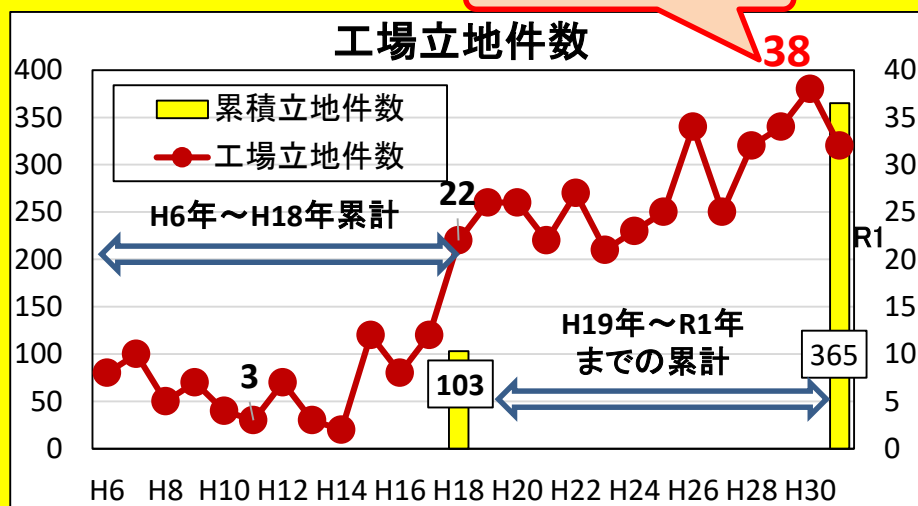
(1) 工場誘致

これまでは

- ・平成19年以降、県職員が4,700社を超える企業訪問を続けるなどした結果、工場誘致件数が好調です。(過去13年の件数365件 R1 全国8位 近畿2位)
- ・独自技術を有する競争力の高いニッチトップ企業の立地事例も多く見られるようになってきました。

成果※

- 平成19年から令和元年までの工場立地件数累計が、365件となりました。



※令和2年9月までの成果を記載しています。

もっと良くするために

工場進出の勢いを止めないように、4年間の誘致目標120件を目指し、誘致活動を強化し、ニッチトップ企業の誘致も積極的に行います。

誘致活動の強化

- 企業立地促進補助の積極的活用
 - ・過去11年間の補助金交付実績 51社
- 戦略的企業誘致の推進
 - ・トップセミナーの実施
 - ・企業立地コンシェルジュの設置
- 海外企業の誘致促進
 - ・JETROや経済産業省との連携による海外企業への積極的な誘致活動の展開

誘致のためのインフラ整備

- ・新たな産業用地創出
- ・中南和東部振興のための産業集積地形成
- ・農地の有効活用
- ・幹線道路の整備

新たな生活様式に対応した企業立地支援策の検討

- 新型コロナウイルス感染症の影響による操業・労働環境の変化についてのアンケート調査
- アンケート調査結果をベースに専門家を交え、新たな企業誘致・支援のための検討会の開催

令和2年度予算(百万円)

当初予算	補正予算
1,019	5

(2) 工業ゾーンの創出

これまでは

テクノパーク・なら工業団地



- ・工場進出の勢いが未だ続いている一方、県内の**産業用地が不足**してきています。
- ・工業ゾーン創出には、「**まとまった用地の迅速な確保**」が必要です。
- ・工業ゾーン創出プロセスの標準化、県の支援措置の検討が必要です。
- ・市町村と協同での工業ゾーン創出が必要です。

成果

- 御所インターチェンジ周辺産業集積地形成事業について、令和2年9月に用地が確定したため、造成・分譲に向けた取組を進めています。

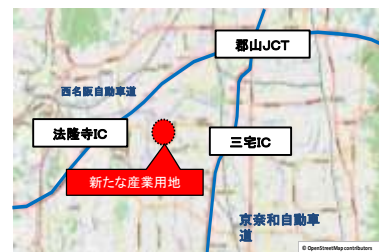
もっと良くするために

市町村と協同で新たな産業用地創出の取組を進めます。

- 企業立地の潜在力が高い地、耕作放棄地再生の産業用地化事業を県が支援**

- ・県は、①産業用地開発フロー案の検討、②候補地カルテの作成、③市町村の意向確認とそのフォロー、④代替農地の確保支援

川西町の産業用地創出事例



中南和東部振興のための産業集積地形成を進めます。

- 御所インターチェンジ周辺の集積地形成
- 東部の産業用地創設を検討

開発済で未利用・低利用の土地を活用します。

- 市町村と連携して企業立地潜在力の高い候補地のリストを作成
- 周辺のインフラ整備の状況、関係法令適用状況を調査
- 立地希望企業のニーズを把握して、マッチング、企業立地セミナー等での情報提供
- 新たなアクセス道路の必要性調査

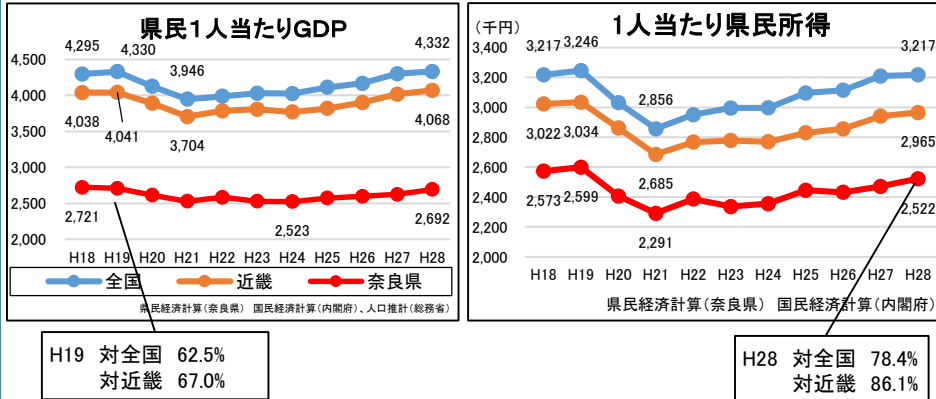
令和2年度予算(百万円)

当初予算	補正予算
25	—

(3) 奈良県版クラスター型産業集積の形成

これまでは

奈良県民1人当たりGDPは、全国・近畿の6割台の水準。
1人当たり県民所得は、全国・近畿の8割前後の水準。



主要産業の出荷額を大きく伸ばし、製造品出荷額等を**4年間で10%以上増**を目標にしています。
独自技術を持ち技術力、競争力の高いニッチトップのモジュール製造企業や装置製造企業などの集積を図ろうとしています。

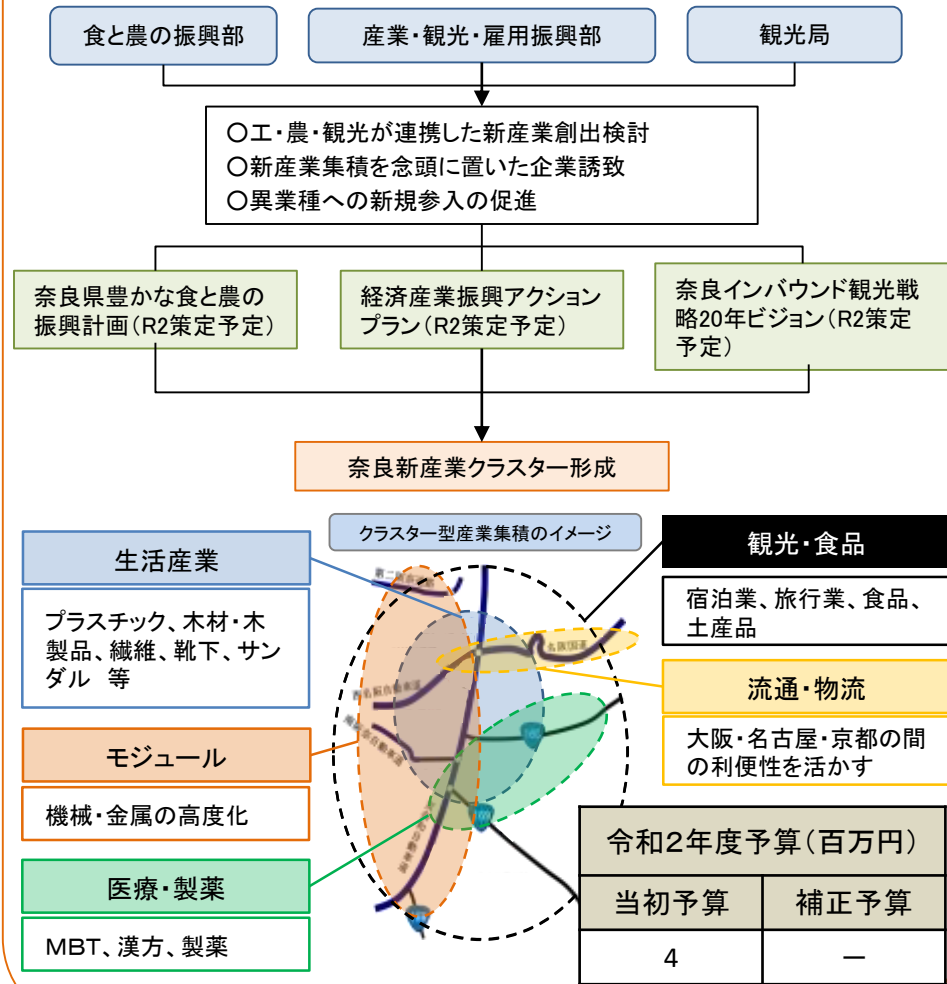
製造品出荷額等は平成24年に1兆7,576億円まで落ち込みましたが平成29年には、**2兆917億円に回復**(工場は立地後3~5年後には生産開始で寄与)

平成29年 主要産業の製造品出荷額等

機械・金属 7,709億円	食品 2,483億円	プラスチック 1,505億円
製薬 587億円	繊維 677億円	木材・木製品 388億円

もっと良くするために

県内産業のクラスター性を高め、新しい産業集積形成を目指します。
(**製造業に加え、農業・観光業も含めた新産業の育成**)



* (8)と共通

(4) 起業支援

これまでは

開業率のランクは決して**低くはありません**。

4. 3% 全国15位 (H30)

開業率…新たに設立された事業所／対前年度事業所数

参考 1位 沖縄6.5% 2位 埼玉5.2% 6位 東京5.0% 14位 京都4.3%

全国と比べ、開業率が低い業種は、
「小売業」(3ポイント)、「宿泊業、飲食サービス業」(2ポイント) (H30)

その結果 人口10万人当たり「小売店頭販売事業所数」**全国46位**
人口10万人当たり「飲食店数」 **全国47位**
「旅館・ホテル客室数」 **全国47位**

・ 県民の消費は旺盛なのに、**県外に消費が流出**

県内1世帯当たりの消費支出額 302,206円 全国11位 (H26)

県外消費率 15.2% 全国 1位 (H26)

県内消費額 139,472円 全国35位 (H26)

・ 県内における買い物、宿泊、飲食の消費を伸ばす
必要があります。

コロナで事業環境は一変

・ **新型コロナウイルスの感染拡大で、消費者の志向や販売方法・サービス提供のあり方が変化しました。**

☞テレワークの普及、巣ごもり消費、ソーシャルディスタンスの確保・換気・消毒 等

もっと良くするために

- ・ 「小売業」、「飲食店」、「宿泊業」の起業を増やします。
- ・ 本県開業率のランクを**10位以内**にすることを目標とします。

○新型コロナウイルス感染症の影響下において、**新しい生活様式に対応したビジネスと支援のあり方**を検討

・ スタートアップ研究会

○起業家創出プロジェクト事業を継続実施

・ 起業への支援金(上限 2百万円)

・ 東京圏からの移住支援金(上限 1百万円)

制度融資による支援、起業マインドの掘り起こしを行います。

○制度融資による支援

○インキュベータの運営

インキュベータ卒業生
[TABI・SQUARE]
地下足袋(足袋スニーカー)等



インキュベータ卒業生
[Su-balance]
無添加 お茶漬けの素



令和2年度予算(百万円)

当初予算

補正予算

68

—

(5) 県産業振興総合センターによる県内産業への研究支援強化

これまで

第1期中期研究開発方針(2016~2020)のもと、成果の出た分野もありましたが、**研究テーマが広く、浅くなりがち**、県内企業の研究者が育っていないなどの課題も残りました。

<成果事例>

- ・オルニチン(肝臓の働きを促進)含有量の高い清酒
- ・病院・高齢者施設で使用する健康維持トレーニング機器
- ・靴下のみで屋外を走れる靴下



[課題]

- ・重点研究16テーマに対して、研究員22人で取り組み。(1テーマ当たり1~2人の配置)
- ・研究テーマが広範にわたり研究レベルが浅くなりがち。
- ・県内企業の研究者が育っていないので支援が必要。

①重点的に行うテーマの選択と集中、②**オープンイノベーション型研究開発**の推進、③県セクター別研究組織の活性化などが必要です。

成果

- 研究支援補助金の創設(令和2年7月より公募)
- 研究開発にかかる県内企業のニーズ調査を実施

もっと良くするために

1件1億円(上限)の研究支援補助金の創設

- 県内産業の基盤強化と新規産業の創出のため、補助率2/3、補助上限額1億円/1件(3年間)の補助金を創設(令和2年度交付先決定)

セクター別県立6研究センターの活用と研究分野統合本部による**共同研究**を進めます。

<共同研究テーマ例>

- ・県産キハダ(オウバク)の栽培促進と有効利用に関する研究
- ・奈良県に適したワインの製造に関する研究

新産業分野、グローバルニッチトップ企業創出のための研究開発を進めます。

<オープンイノベーション型研究開発>

- ・大学や県内企業の研究者と積極的に交流・連携し、地域のブランド技術確立と独自技術のブランド商品開発のため、オープンイノベーション型研究開発を進めます。

制度融資による支援(研究開発支援資金)

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
18	—

(6) 県産品の海外販路、国内販路の拡大

これまでは

国内、海外への販路拡大に努めてきました。県内企業への支援件数が増加しています。

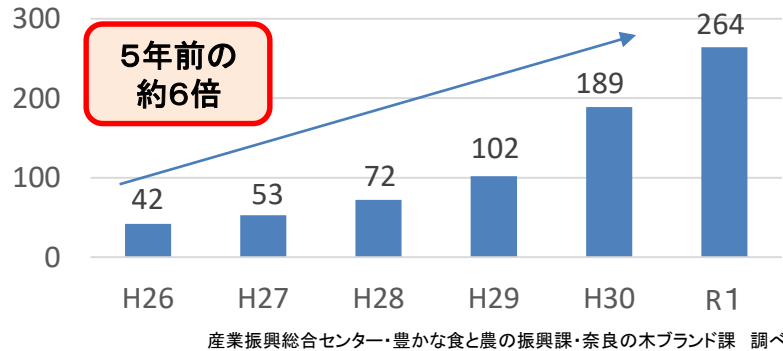
大田市場での柿のトップセールス



フランスでの県産品プロモーション



企業等の販路拡大支援件数



成果

○新型コロナウイルス感染症の影響で休止していた県内大規模商業施設での販売促進支援を再開しています。(7月～)

もっと良くするために

ウィズコロナ・アフターコロナにおける販路拡大の支援策を工夫し、充実します。
販路拡大支援件数年間220件を目標

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業主への販路拡大等の取組への支援

○売上が減少した事業者が、緊急に行うインターネット販売や感染防止設備の導入に対する補助や、再起に向けて行う新製品開発や店舗・工場の改修、部品の内製化等に対する補助

海外への販路拡大

○ジェトロ奈良貿易センターと連携し、海外通販サイトでの販売支援、オンライン商談会などのコロナ禍でも有効な支援を強化
○コロナ禍の状況を見極めつつ、農林産物を含む県産品のヨーロッパ・アジア市場等への有効な海外販路拡大支援策の検討

首都圏等での販路拡大

○感染症防止対策を徹底したうえでの首都圏での展示会出展、商業施設での販売、知事トップセールス、県産品PR、eコマースの推進等の支援
○奈良まほろば館や県内大規模商業施設での販売促進支援
○リアルとオンラインを融合した展示会等の実施検討

東京での「奈良まほろば館」新拠点を、他の道府県に負けない「飲食」「物販」の首都圏展開拠点とし、「奈良ものブランド力」強化を図ります。

令和2年度予算（百万円）	
当初予算	補正予算
100	2,050

(7) 商業振興・商店街活性化

これまでは

県内商業の「売る力」はまだです。
県民1人当たり小売業年間商品販売額 47位
商業従事者1人当たり商品販売額 47位

- 奈良ブランド開発支援事業をH21から実施
(下請けからの脱却と顧客開発の勉強会)
松屋銀座7階の常設店舗TEIBANに繋がる



「NARA TEIBAN」(東京 松屋銀座)の開設

県内商店街は一部観光地を除いて空き店舗が多く、多くの課題が顕在化してきています。

- 商店街活性化等支援事業実施
商店街の複数空き店舗を借りて、一斉に期間限定で活用する取組を複数回実施

官民協働の店設営



カフェの開設



立ち飲みの開設



成果

- 「NARA TEIBAN」は2周年を迎え、顧客が増加しています。
- 商店街空き店舗に、飲食店が新規開業しました。
そのほかにも今後、出店が予定されています。

もっと良くするために

県内消費の喚起を支援します。

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、大きく影響を受けた県内消費を喚起するため、**市町村のプレミアム商品券やクーポン券、地域振興券の発行などの取組に対して上乗せ支援。**

駅前商店街空き店舗の活用を図ります。

- 空き店舗を活用し、チャレンジショップやイベント等を実施

「奈良ブランド」の開発を支援します。

- 自社ブランド化のための商品開発・販路開拓を支援

SPA店舗運営支援

- 企画から製造・小売までを一貫して行うSPA**を支援
- NARA TEIBANのさらなる進化を図る

マーチャンダイジング「五適」の実践を図ります。
マーケティング講座の開催をします。

- 店舗運営者等を対象に、店舗での品揃え、陳列、販売計画などのマーチャンダイジング「五適」を学ぶ勉強会の開催。
製造業者等を対象に、顧客の視点での商品開発等のマーケティングを学ぶ勉強会の開催。

令和2年度予算(百万円)

当初予算 補正予算

7 1,500

(8) 奈良県経済産業振興大綱の策定

これまで

奈良県経済の活動水準は、決して高いものではありませんでした。

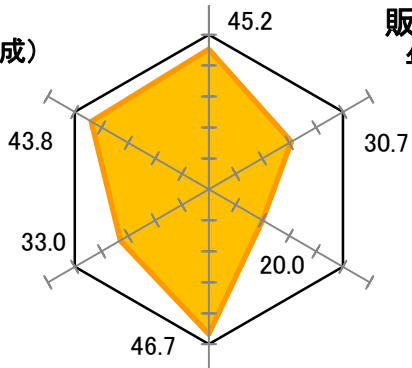
奈良県経済の偏差値

県内総生産(名目)

⑩ 3兆7,852億円

投資(総固定資本形成)

⑩ 5,219億円



販売(県民1人当たり年間商品販売額)

⑩ 882千円

雇用(就業率※)

⑩ 51.9%

県内消費率

⑩ 84.1%

経済成長率(実質)

⑩ 0.9%

しかし、最近経済の先行指標の中で、投資(工場立地件数 全国11位)、雇用(就業地別有効求人倍率 近畿1位)、生産(域内経済成長率 全国9位)に高い動きが見られます。

H28年実質経済成長率は、全国平均を大きく上回るプラス成長となり、前年度全国40位が9位になりました。建設業(民間建築工事等)、製造業(食料品、化学等)などの伸びが成長に寄与しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、県内経済の状況は、各方面で極めて厳しい状況にあります。

※就業率…就業者数/15歳以上人口

もっと良くするために

投資生産、販売消費、雇用が県内で好(高)循環することを目指し、製造業、農業、観光産業が連携した、経済振興方針を策定します。

(新型コロナウイルス感染症による経済への影響もふまえ策定を進めます。)

奈良県経済の見える化

○客観データにより、県内経済産業の動向と構造の把握に努め、見える化を行います。

勉強会の実施

○有識者を中心とした勉強会を設け、域内経済状況の把握と具体的施策の抽出に努めます。

やるべきことと目標の明確化

○経済産業政策の目標を具体的に示し(例: 県民1人当たり①県内総生産額、②商品販売額、③県内消費額、④投資額、及び⑤就業者数、⑥成長率)、目標達成のための施策内容も具体的に示します。

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
4	-

*(3)と共通

2 働き方改革の推進と就業支援

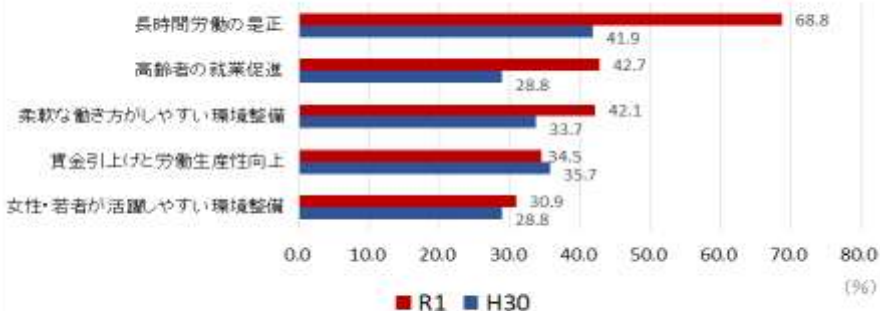
(9) 奈良県版働き方改革、職場環境改善、職業能力開発

これまでは

奈良県**経済の元手は人材**です。職場での働き方を良くし、職場環境を働きやすくし、人材育成に努めることで奈良県経済は活性化すると信じ、取組を進めてきました。

○県内企業の働き方改革の取組については、働き方改革関連法が順次施行され、着実に進んでいます。

県内企業の働き方改革の取組状況(H30→R1)



出典：
令和元年度 職場環境調査

- 業種や職種ごとの特性に応じた働き方改革を実現するため、セクター別の働き方改革の意見交換会や研究会を開催しました。
- 国の育児休業給付金に上乗せして、賃金等を支給した事業所に県が補助しました。
- 高等技術専門学校で職業訓練・就労支援を実施しました。

もっと良くするために

潜在的な労働力の掘り起こしを行う。

- 男性の15歳以上就業率は全国45位、女性は47位(最下位)の状況が続いており、潜在的労働力が家庭に存在。
- 就業率は、**男女とも全年齢層において全国平均を下回っています。**(男性は15歳～34歳で、女性は35歳～64歳で全国との差が大きい。)

奈良県・全国の年齢別就業率(男性)

年齢層	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
奈良県	31.3%	86.6%	91.2%	91.6%	81.6%	29.1%
全国	38.4%	90.1%	92.6%	92.0%	82.7%	32.3%
全国との差	▲7.1%	▲3.5%	▲1.4%	▲0.4%	▲1.1%	▲3.2%

奈良県・全国の年齢別就業率(女性)

年齢層	15～24歳	25～34歳	35～44歳	45～54歳	55～64歳	65歳以上
奈良県	35.7%	70.2%	66.1%	69.1%	49.4%	12.5%
全国	39.1%	73.4%	71.9%	74.9%	58.7%	16.5%
全国との差	▲3.4%	▲3.2%	▲5.8%	▲5.8%	▲9.3%	▲4.0%

県内企業がより**働きやすい企業**になればより良い人材が集まり、企業が成長すると信じ、「新しい生活様式」を取り入れた働き方改革、職場環境改善、職業能力開発に取り組めます。

- 事業所の働き方改革を支援
- 社員・シャイン職場づくり
- 育児休業の取得促進
- 制度融資による支援
- セクター別働き方改革勉強会を継続
- 県内での新しい働き方を検討

・「新しい生活様式」を踏まえた好事例の調査

令和2年度予算(百万円)

当初予算	補正予算
29	5

(10) 県内就業支援・離職者再就職支援

これまで

県内就業率が低く(71.2% 全国91.0% H27:46位)、離職率も高い(県内事業所での新卒3年以内の離職率[H28年卒]大学生40.8%(全国32.0%)、高校生44.0%(全国39.2%))県であり、県庁版ハローワーク(しごとiセンター、県内就労あっせん・起業支援センター)を通じ、県内就業支援、県内再就職支援を行ってきました。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、対面で実施してきた就業相談や合同企業説明会について、新たな手法での検討が必要になりました。

県内外の大学と連携した取組

・奈良先端科学技術大学院大学、近畿大学、奈良女子大学における合同企業説明会、個別説明会の実施、県庁版ハローワークにおけるマッチング支援の実施、県内外の企業OBの県内就労の支援、県内就業希望の高度専門人材と求人企業を登録し、県がマッチングを実施

再就職支援の充実

- 県庁版ハローワークの運営(内定者28人(R1))
- 県内就労あっせん・起業支援センターの運営(就職決定者18人(R1))

離職者の特性に応じた個別の支援

- 高卒離職者支援・キャリアサポートセンター相談件数 14件(R1)
- 若年無業者支援・地域若者サポートステーション相談人数 214人(R1)
- 障害者支援・障害者就労・生活支援センター・相談件数 16,965件
登録者数 2,823人(R1)

成果

- 新型コロナウイルス感染症の経済・労働分野への影響に関する調査について電話での県内企業へのアンケート調査を実施しました。結果について集計・分析後、検討会での報告を予定しています。
- 高校への情報提供として、県内企業161社の情報を掲載した「企業の魅力発信シート」を作成しました。

もっと良くするために

県庁版ハローワークの運営強化、職業訓練体制の強化により、**新卒者・離職者の県内就業の増加を図ります。**
また、**新型コロナウイルスの本県の経済・労働情勢への影響を踏まえた効果的な取組を検討します。**

- 県庁版ハローワーク等で離職者の再就職支援
- 高等技術専門学校できめ細かな職業訓練を実施
- 奨学金返還を支援
- 新型コロナウイルス感染症の本県経済・労働分野への影響に関する調査、分析、専門家への意見聴取

高卒、大卒者への就労支援のほか、既卒未就業者・若年無業者・矯正施設出所者への**特性に応じた就業支援を行うとともに、新型コロナウイルス感染症防止対策と新しい生活様式を踏まえた取組を進めます。**

- 高校生への有給インターンシップ、未就業者への就労相談の実施
- オンライン合同企業説明会の開催、オンライン就労相談体制の整備
- 若年無業者への職業訓練、臨床心理士の相談
- 保護観察対象者を県が直接雇用、資格の取得支援

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
627	20

* 補正予算のうち10は(12)と共通

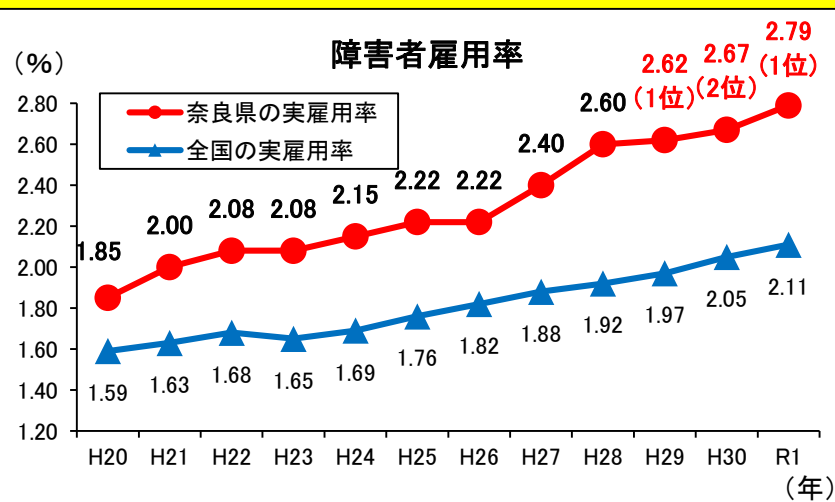
(11) 障害者雇用対策の推進

これまでは

- ・障害者政策推進トップフォーラムや意見交換会等の開催を通じて、障害者雇用についての問題意識を共有し、官民が一体となって障害者の雇用に取り組みました。
- ・就労連携コーディネーターと障害者就業・生活支援センター、特別支援学校等との連携により、職場開拓や職場実習を進めるとともに、職場定着の取組を強化しました。

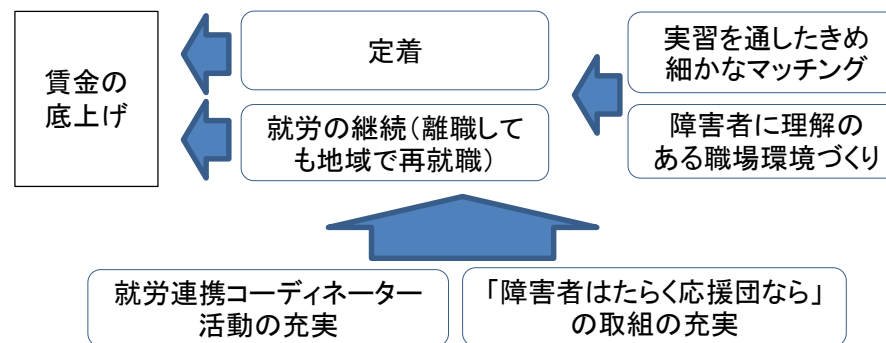
成果

○令和元年度の障害者雇用率は、0.12ポイント増加、再び全国1位となりました。



もっと良くするために

障害者が**就労により自立した生活を送ることが目標**



なら障害者「はたらく」推進事業、精神障害者・発達障害者雇用企業サポート事業、障害者職場実習促進事業を実施します。

- はたらく応援団ならの運営
- 企業応援集中セミナーの開催
- 就労連携コーディネーターの配置
- 精神保健福祉士などを雇用促進コーディネーターとして、企業等に派遣
- 職場実習先にジョブサポーターを派遣
- 障害者就業・生活支援センターの相談体制の強化



セミナー開催の様子

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
23	5

(12) 外国人労働者県内定着対策

これまで

県内の外国人労働者数は、5,563人(全国約165万人の0.3%(R1.10末))。体制は不十分な状態。(県内企業は、採用方法が分からない、受入体制が整っていない状況。県内就労希望外国人には、企業支援が少ない、就職活動の仕組みが分からない状況。)

- 外国人の産業分野別就労割合は、**製造業の分野が多く、宿泊業・飲食サービス業の分野が少ない**状況 (%)

業種	製造業	サービス業	卸売・小売業	建設業	宿泊業・飲食サービス業
奈良県	42.2	14.7	9.2	8.9	6.0
全国	29.1	16.1	12.8	5.6	12.5

奈良県では**有効求人倍率が高いセクターもあり**、令和2年6月では、介護関係職種5.71倍(全国4.15倍)、建築・建設関係職種4.77倍(全国4.91倍)、飲食物調理の職業3.47倍(全国1.97倍)、外国人労働者の円滑な県内受入と良好な生活環境の創出維持が必要です。

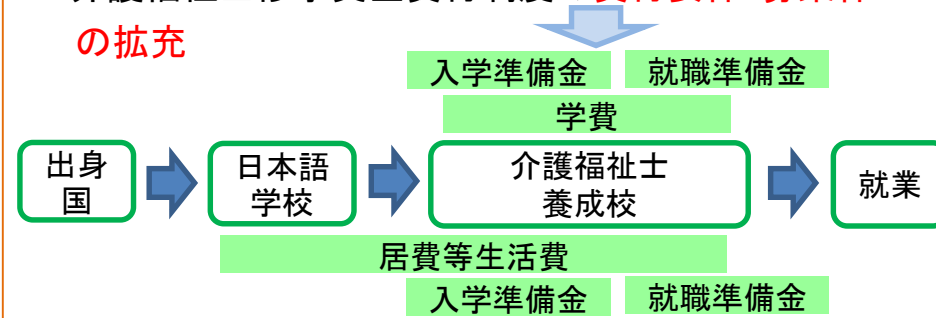
成果

- 介護福祉士修学資金について、令和2年度に新たに外国人留学生39名に対する貸付を行いました。
- 外国人留学生修学支援資金について、令和2年度に新たに3法人に対する貸付を行いました。
- 多文化共生・国際化の講座・研修会等について、7月に1回実施しました。(今年度中、計8回実施予定)

もっと良くするために

外国人労働者が**円滑に県内で就労し、良好な生活環境で定着**できる仕組みを構築します。

- 留学生等の県内就業円滑化を支援
- 奈良県で不足している介護職員の定着を支援
 - ・介護福祉士修学資金貸付制度の**貸付要件・募集枠の拡充**



- ・居住費等生活費などの貸付
 - いずれも**県内福祉施設で5年間就労すれば、貸付金返還免除**

- 多文化共生・国際化の講座・研修会等を実施
- 奈良県経済・労働緊急調査事業の中で外国人材への新型コロナウイルス感染症の影響についても調査

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
52	10

*補正予算は(10)と共通

Ⅱ 賑わう「都」をつくる

～奈良が有する自然・歴史・文化資源を活用し、観光産業を振興する～

3 滞在型観光の定着

- (13) ホテル誘致
- (14) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興
- (15) 高畑町周辺地区整備
- (16) 吉城園周辺地区整備
- (17) 旧奈良監獄ホテル整備支援
- (18) 民泊、修学旅行、スポーツ・セミナー合宿への支援
- (19) 宿泊予約統一サイトの整備

4 魅力ある観光地づくり

- (20) 奈良公園アメニティ向上
- (21) 奈良公園周辺の交通周遊環境向上
- (22) ぐるっとバス支援
- (23) 猿沢池周辺の環境整備
- (24) 県立文化会館・美術館の整備
- (25) 近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備
- (26) 大宮通りの景観の向上
- (27) 平城宮跡東側の整備、大極殿院南門の整備
- (28) 平城宮跡南側の整備
- (29) 中町道の駅の整備
- (30) 自転車周遊環境整備

5 観光奈良の魅力向上・発信

- (31) 県内イベントの充実
- (32) 海外プロモーション・東京プロモーションの展開
- (33) 「奈良まほろば館」新拠点への移転
- (34) 食の振興
- (35) 奈良県の観光戦略20年ビジョンの策定と実行

3 滞在型観光の定着

(13) ホテル誘致

これまでは

ホテル客室数は、まだ近畿で最下位です（全国でも最下位クラス）。ハイエンド観光客に対応した高級ホテルもありませんが、近年、ホテル客室数が増加してきました。

成果

令和2年6月5日
ふふ奈良 OPEN



令和2年7月22日
JWマリオット・ホテル
奈良 OPEN



もっと良くするために

2025年の大阪・関西万博の開催を好機ととらえ、**バラエティのある上質なホテル**誘致を加速します。R2～R4の3年間で1,200室以上増加予定。

○JETRO奈良事務所と連携し、ハイレベルのスポーツ合宿、セミナー・イベント等に対応可能なホテル誘致をきめ細やかに実施

NAFIC周辺に**食・農・眺望を活かした賑わい**づくりを推進。

NAFIC附属セミナーハウス
(R4に供用開始予定)

眺望のよい上段部へ民間事業者の誘致を検討



セミナーハウスイメージ



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
163	—

(14) 奈良県コンベンションセンターを活用した観光振興

これまでは

これまで奈良になかった大型コンベンション施設と国際ブランドホテルの整備を、奈良市大宮通り(県営プール跡地)で進めてきました。

成果

○令和2年4月1日に奈良県コンベンションセンターが、7月22日にJWマリオット・ホテル奈良が開業しました。



奈良県コンベンションセンター



JWマリオット・ホテル奈良

もっと良くするために

奈良県コンベンションセンターを活用した、
①MICEの誘致、②新しい賑わいの創出、
③県内への訪問客の展開、を行います。

①MICE誘致活動強化と施設の運営

・新型コロナウイルス感染防止に配慮しつつ、大規模国際会議開催のため、トップセールスを継続するとともに、県、奈良県ビジターズビューローによる誘致活動を展開
・コンベンションセンターの特性である天平広場を活かし、屋外会議をはじめとする「新しい生活様式」に即したMICE開催を提案、開催実績を広くPR

②新しい賑わいの創出

・新型コロナウイルス感染防止に配慮しつつ、天平広場を活かしたイベントを開催するなど、継続的なイベント開催を推進

③県内への訪問客展開のための体制整備

・交流拠点全体のタウンマネジメント協議会を定期開催
・ユニークベニュー(歴史的建造物等での会議・レセプション開催)を開発



天平広場(オープンスペース)

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
167	—

(15) 高畑町周辺地区整備

これまでは

日本が誇る庭園文化・茶の湯文化を感じることのできる場の再興



計画地全体をひとつの庭と見立てた、
奈良のこの地ならではの『庭屋一如』を^{ていおくいちによ}実行

・既存樹・庭園遺構と調和する上質な宿泊施設と、奈良県産食材を活かした和食を提供する飲食施設が、奈良公園に新たな魅力を生み出します。

成果

- 令和2年5月に瑜伽山園地として開園
- ・旧山口氏南都別邸庭園を無料開放
- ・6月には宿泊施設・飲食施設がオープン

もっと良くするために

民間と協働で、名勝指定当時の風情を偲ばせる、奈良公園の新たなにぎわい拠点としてさらなる魅力の充実をはかります。

旧山口氏南都別邸庭園



庭園と飲食施設



令和2年度予算(百万円)

当初予算

28

補正予算

—

(16) 吉城園周辺地区整備

これまでは

・江戸末期から昭和初期の『和を基調とした風情の中に洋を感じる近代建築物』と庭が織り成す空間美を保全しながら、**ゆったりとくつろぎ宿泊**することができる空間をつくりあげます。

「畏敬の夜・神秘の朝、奈良らしさを世界へ」

・漆黒の夜に灯る火のゆらぎ、若草山から昇る朝日、この場所で感じられる奈良の歴史と自然を、最高級インターナショナルホテルブランドと日本を代表する建築家と共に表現し、奈良らしさ、奈良そのものを世界へ発信します。



宿泊施設の整備イメージ

・当該地に相応しい保存・活用のあり方や、旧知事公舎の耐震化を含めた保存・整備手法を慎重に検討するため、まちびらきの時期を令和2年春から令和4年夏に延期しました。

もっと良くするために

令和4年夏のまちびらきに向け整備を進めます。県は、吉城園周辺の土塀の修景、無電柱化を行い、**名勝の価値を高め**ます。



- 交流エリア
- 宿泊エリア
- 一般利用者の動線
- 交流施設の出入口
- 宿泊施設の出入口

令和2年度予算(百万円)

当初予算 補正予算

409

—

(17) 旧奈良監獄ホテル整備支援

これまでは

令和元年11月23日に史料館がプレオープンしました。

県は包括協定(平成29年12月締結)に基づき、旧奈良監獄周辺地域の活性化に資する取組を支援

- ①法務省、奈良市との包括協定に基づき、旧奈良監獄アクセス道路整備事業を支援
- ②旧奈良監獄の歴史文化的価値を保存・活用するための事業に協力

(法務省より提供)



監獄史料館
プレオープンイベント



もっと良くするために

令和4年ホテル運営開始予定。

旧奈良監獄ホテルのイメージ (法務省より提供)



県はホテル整備のための支援を継続します。

- 奈良市によるまちづくり基本計画策定支援
- 奈良市によるアクセス道路整備へ支援
- SPCの耐震改修へ支援
- 奈良市と連携した沿道整備

令和2年度予算(百万円)

当初予算

補正予算

47

—

(18) 民泊、修学旅行、スポーツ・セミナー合宿への支援

これまでは

本県ではバラエティーに富んだ民泊サービスが**全域でバランスよく**広がっています。

「都市部での一般的な住宅」、「観光拠点周辺での古民家を活用したもの」、「山間部での自然体験を伴うもの」などがあります。

多くの方々に安心して県内観光をしていただくためにも、観光地における新型コロナウイルスの**感染防止対策が重要**となっています。

もっと良くするために

観光地における感染症対策を徹底します。また、安心安全な団体の誘致強化と、多様な宿泊ニーズに対応した宿泊サービスのおもてなし力向上を図ります。

- 宿泊施設や観光施設等の**感染症対策の徹底、安心・安全の確保**への支援
- セミナー等により民間宿泊施設の**おもてなし力向上**を支援
- **教育プログラム(SDGsプログラム、学習ガイドブック等)**を充実させ修学旅行誘客のセールスを強化
- 新型コロナの影響で修学旅行を中止、延期等をした学校への**営業活動の強化**



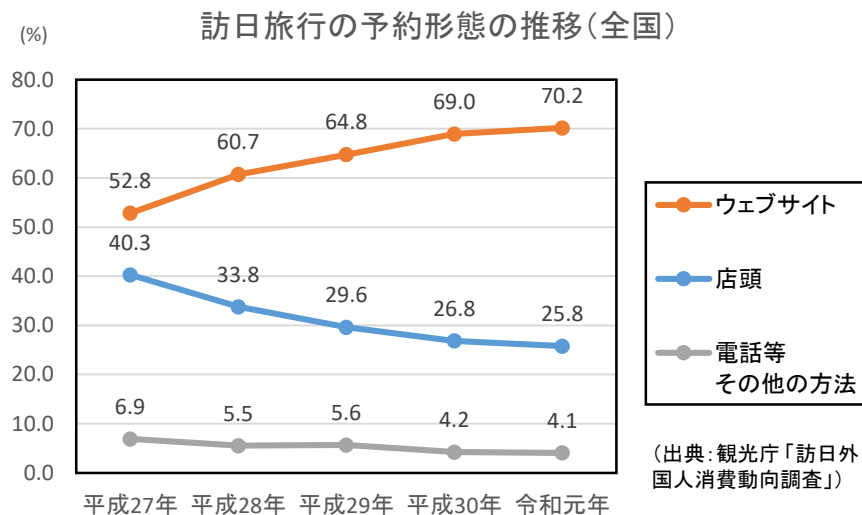
セミナーイメージ

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
23	100

(19) 宿泊予約統一サイトの整備

これまでは

各宿泊施設が旅行会社に依存しつつ、個別に予約を受け入れるシステムから、ICTを活用した、より合理的な予約システムへ**システムが変化**。多くの人がICTで予約される状況です。



もっと良くするために

各宿泊施設の意向等を聴取し、**県宿泊予約統一サイト**の今後について検討を進めます。

- 県内宿泊等促進キャンペーン事業により、既存の予約サイトを活用した予約統一サイトを期限付きで設置(R2.8)。
- 当サイトの利便性について結果を分析し、今後について検討を進める。

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
7	500

4 魅力ある観光地づくり

(20) 奈良公園アメニティ向上

これまでは

奈良公園アメニティの拠点、「奈良公園バスターミナル」、「鹿苑」、「大仏殿前駐車場」の魅力向上を図ってきました。

奈良公園バスターミナル
ベンチ・せんとかん設置



鹿苑



洋式トイレに更新した
大仏殿前駐車場トイレ



園域全体のアメニティの課題である「トイレの整備」、「Wi-Fi環境」、「キャッシュレス環境」、「遊歩道の周遊環境」、「案内表示」、「渋滞解消」、「休息、飲食環境」などの改善に努めてきました。

建替後の
五十二段北トイレ



NARA Free Wi-Fiの整備



案内サインの整備



もっと良くするために

奈良公園の魅力をもっと高めます。

○レクチャーホールでの賑わいイベントの実施など、奈良公園バスターミナルのアメニティを向上

○R7竣工を目指した鹿苑の整備

○大仏殿前駐車場に休憩施設などを整備

○トイレの洋式化

○植栽の整備

○春日山原始林の保全

先進技術を活用した奈良公園内の移動円滑化の社会実験を冬に実施します。



電動小型低速車両を用い
広域な公園地内の移動を支援

令和2年度予算(百万円)

当初予算

補正予算

387

—

(21) 奈良公園周辺の交通周遊環境向上

これまでは

奈良公園バスターミナルが平成31年4月に開業



オープン後、課題改善に取り組んできています。

○運用後の効果

昨年秋の観光シーズンには、平日を中心に渋滞の緩和が図られました。

○運用後の課題(利用者の声)

- ①上三橋駐機場への回送が遠く、不便。
- ②希望する時間帯に予約が取れない。
- ③当日に行程が決まるケースがあり、事前予約できない。

○運用後の対応

- ①上三橋駐機場へ回送する運用基準を見直し、高畑駐車場の利用を拡大。
- ②予約枠を10分あたり8台から13台に拡大。
- ③当日予約を開始。

もっと良くするために

奈良公園バスターミナル**運用改善**に取り組み、施設のアメニティの向上に努めます。

- 奈良公園バスターミナル、高畑駐車場、大仏殿前駐車場、登大路駐車場の運営を引き続き一体として行います。
- 奈良公園バスターミナルのアメニティの向上を図ります。
 - ・賑わい創出イベントの開催
 - ・屋内・屋外ベンチ・案内サインの設置
 - ・レクチャーホール利用促進

周辺の交通周遊環境の整備を図ります。

- 平城宮跡歴史公園南側**に来園者用駐車場、バス駐機場を整備
- ぐるっとバス・パークアンドバスライドの運営
- 大仏殿前駐車場に休憩所を設置
- バスターミナルから大仏殿周辺へ吉城園内通路を活用した新たな歩行者動線を検討します。

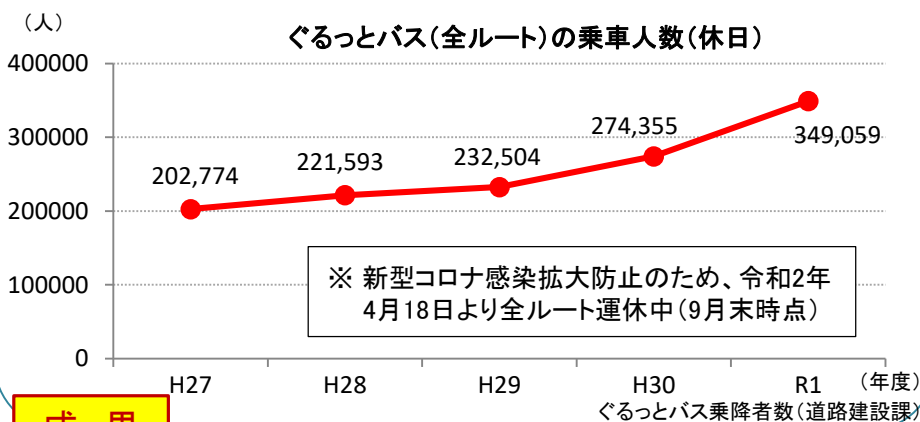
令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
817	—

(22) ぐるっとバス支援

これまででは

ぐるっとバス運行開始後乗客が伸びています。平成31年4月に3路線*の乗継拠点を大仏前駐車場にし、ルート変更も行いました。

* 奈良公園ルート、若草山麓ルート、大宮通りルート



成果

○令和2年4月より大宮通りルートを奈良県コンベンションセンター経由に変更しました。



もっと良くするために

ぐるっとバスの運行環境の改善をさらに進めます。

- バスロケーションシステムの追加設置(令和2年大仏殿前駐車場)
- パーク&バスライド用の無料木簡型一日乗車券の配布(「ぐるっとキャンペーン」の拡大)
- 西大寺駅南口(令和3年春整備完了予定)への乗入れ、奈良監獄ホテル(令和4年開業予定)への新規路線の検討

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
197	—

(23) 猿沢池周辺の環境整備

これまでは

猿沢池をならまちへの玄関口として認識し、
ぐれーとさまあーふえすた☆ならまち遊歩
(8月、9日間)を実施しました。

来場者数は年々増えてきています。

年度	H29	H30	R1
来場者数	18,616	20,240	26,533

※ R2は新型コロナウイルス対策のため、人が密集するようなコンテンツを見直し、規模を縮小して実施。



猿沢インを平成27年に開業。ならまちの人気向上に役立っています。

猿沢インは、観光案内・宿泊機能等を備えるとともに、日本文化体験も実施しており、旅行クチコミサイトでも高い評価を得ています。



もっと良くするために

猿沢池周辺の環境整備を行います。

猿沢池周辺のにぎわいづくりの向上のため、柵やイルミネーションを設置します。

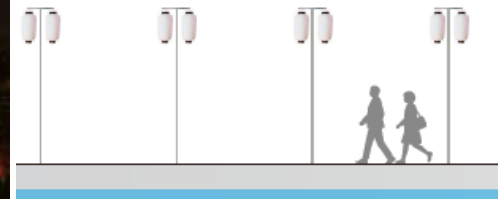


整備イメージ

多くの来場者の方々に一層楽しんでいただけるよう夏のお祭りの工夫をこらします。



イメージ



イメージ

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
15	—

(24) 県立文化会館・美術館の整備

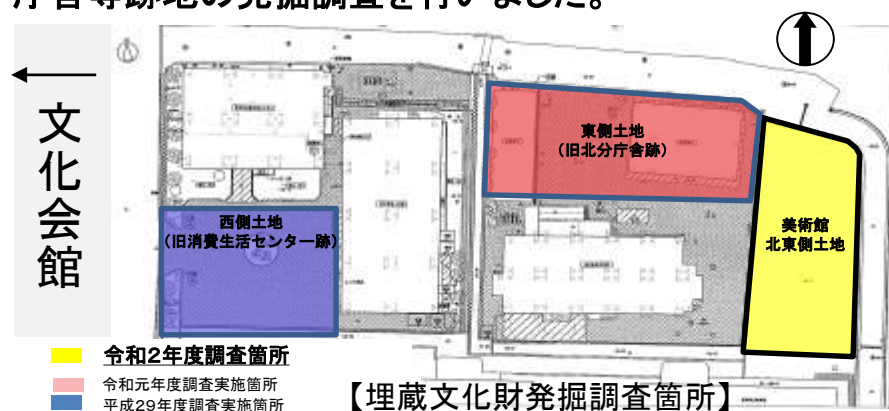
これまでは

耐震性の低い両館の**一体的な改築整備**の検討を進めてきました。

○これまでの経緯

- ・耐震基準を満たしていないことから、引き続き利用するには早急に応急対策が必要
- ・平成27年度に「文化会館、美術館及びその周辺整備計画」を策定

○美術館アネックス対策のため、旧消費生活センター・北分庁舎等跡地の発掘調査を行いました。



成果

○令和元年度に文化会館と美術館の**応急的耐震補強工事**を実施しました。

もっと良くするために

文化会館を、**先行して**リニューアル整備します。美術館は文化財発掘調査の結果を踏まえて整備手法の方向性を検討します。

○H27「文化会館、美術館及びその周辺整備計画」をリバイス(文化会館の整備内容を検討)

○工期を分け、1期は文化会館を耐震化中心に整備
(例) 国際ホールのリニューアル(バリアフリー化含む)
長寿命化のための設備改修・更新



○文化財発掘調査の結果を踏まえ**美術館整備手法**の方向性を検討

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
58	—

(25) 近鉄奈良駅周辺の景観・環境整備

これまでは

近鉄奈良駅前は、観光地奈良公園の玄関口にもかかわらず、不便で雰囲気が悪いなどとの評判が立っていました。

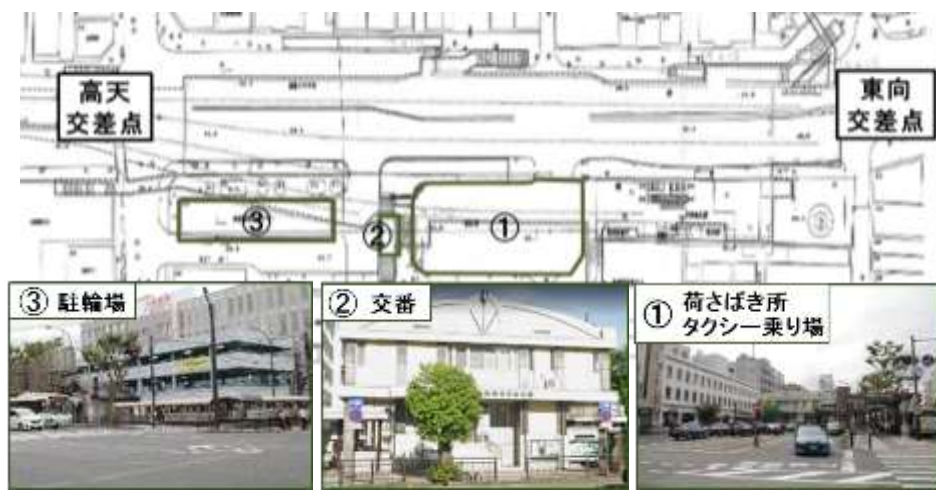


近鉄奈良駅前広場の**透明の屋根の整備**、バスロケの整備、ぐるっとバス停の設置、県ポスター掲示を美術館ポスターに入れ替えなどを進めるとともに、景観・環境整備の進め方について検討してきました。

もっと良くするために

地元商店街、地元自治会の人々と協同した玄関口近鉄奈良駅前の景観・環境整備の検討を進めます。

- 地域の関係者との第1回勉強会を開催(9月8日)
- 歩道空間を活用した環境整備に関する予備設計
- 大宮通りをはさんだ**近鉄奈良駅前を一体としてとらえ統一した考え方**のもとでの景観・環境整備を検討します。



令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
11	—

(26) 大宮通りの景観の向上

これまでは

奈良市大宮通りの景観改善に努めてきました。
大宮通りジャーナルを発行しました。

花壇の整備
(油阪交差点(南東側))



花壇の整備
(二条大路南5丁目交差点)



大宮通り景観の整備
鹿のイルミネーション
(油阪交差点(東側))



花壇の整備
(二条大路南1丁目交差点
(北東側))



大宮通りでボランティアの方々や、沿道企業の方々
が花壇の植付やゴミ掃除をしていただき
ており、とても感謝しています。

もっと良くするために

奈良の玄関口である大宮通りにおいて、**植栽や花壇整備等**により、花と緑で来訪者をもてなす道路空間を創出するとともに、花壇、街路樹等に**イルミネーション**を整備します。

- 西方寺前の白壁のライトアップ等、光量増量を図りおもてなし空間とします。
- JR高架橋の歓迎文字(ようこそ奈良へ)を目立たせる工夫をします。



- 花壇のイルミネーションをさらに整備します。



令和2年度予算(百万円)

当初予算

56

補正予算

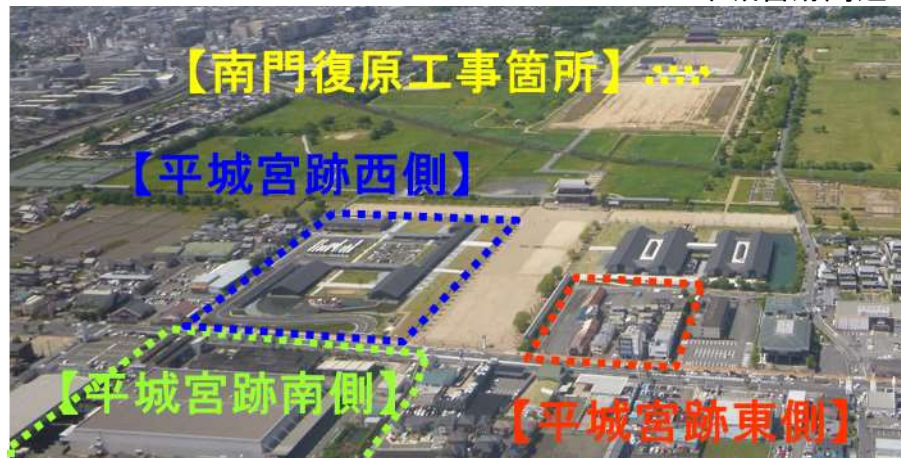
—

(27) 平城宮跡東側の整備、大極殿院南門の整備

これまでは

西側に続いて東側や南門整備に着手。

平城宮跡周辺



平城宮跡東側は平成30年2月に都市計画法第59条に基づく事業認可を受けました。現在、地元自治会や事業用地関係者の皆様のご理解を得て用地交渉を進めさせて頂いていること、深く感謝します。また、南門は平成29年度から国が工事着手し、令和元年5月には立柱式を行い、令和元年末までに16本の柱が全て立ち上がりました。

成果

○令和2年5月に第一次大極殿院南門の上棟式を行いました。

もっと良くするために

南門は令和4年春完成予定、東側は令和7年度の完成を目指します。

○令和4年春南門の完成及び新たに「東門」の整備検討を国に要望していきます。



○東側は「歴史体験学習館」の整備を行います。



- ・R2基本計画策定
- ・R3用地買収完了、基本設計
- ・R4詳細設計、造成工事開始

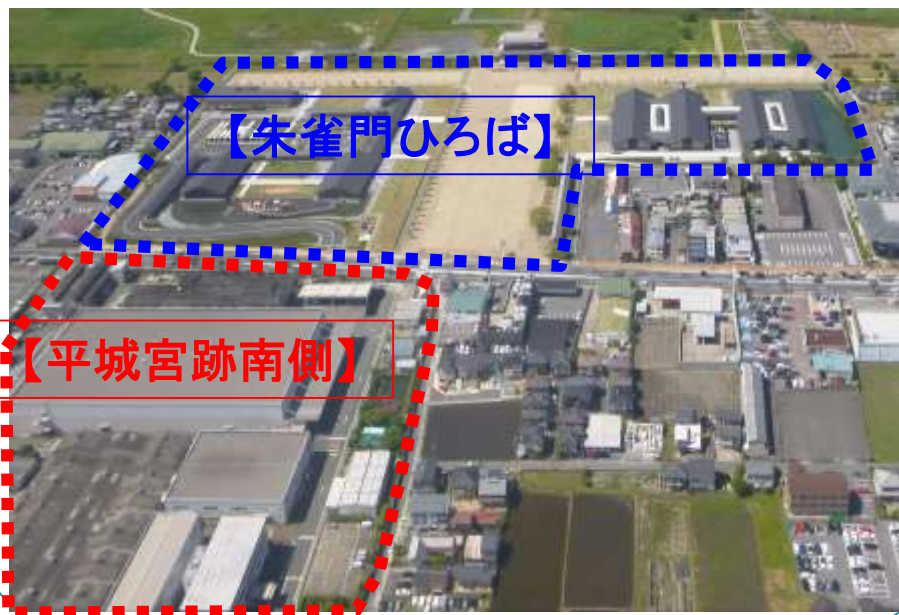
令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
581	—

(28) 平城宮跡南側の整備

これまでは

平城宮跡南側も朱雀門ひろばと一体感のある整備が必要です。

朱雀門ひろばの南への展開も検討しています。



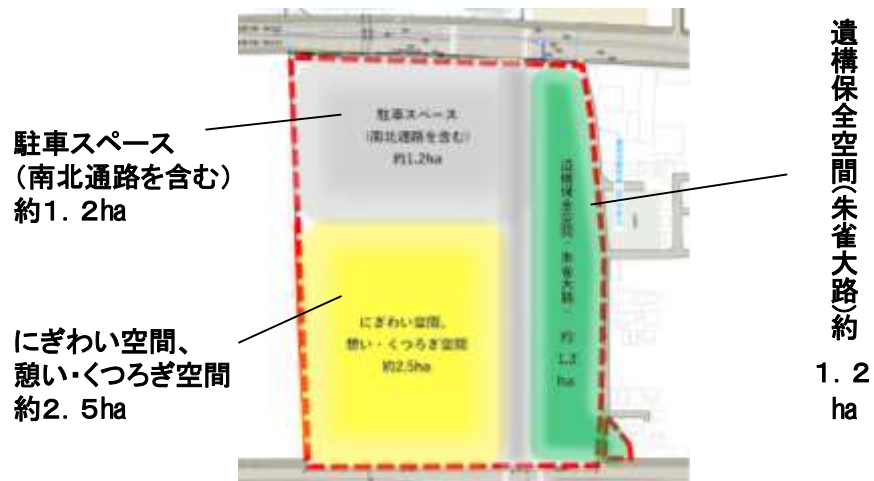
成果

○令和2年度に平城宮跡南側整備を新規事業化しました。

もっと良くするために

平城宮跡歴史公園と一体となった公園の整備を行います。

- 憩いや賑わい機能をもった公園整備を行います。
- 令和2年度中に積水化学工業(株)から用地取得し、一部を駐車場として暫定整備します。



※表記しているレイアウトは現段階のイメージです。

- ・R2 用地取得、文化財発掘調査、平城宮跡歴史公園の駐車場整備、公園基本計画の策定 等
- ・R3以降 都市計画変更、文化財発掘調査、基本設計、実施設計、工事

令和2年度予算(百万円)

当初予算 補正予算

258

—

(29) 中町道の駅の整備

これまでは

中町駐車場の整備構想が進みませんでした。が、「道の駅」として整備する構想がまとまってきました。



事業箇所



眺望イメージ



施設のレイアウト

成果

○芝生広場や西側眺望を楽しめるようにオープンテラスを配置するなど、施設のレイアウトを作成しました。

もっと良くするために

「中町道の駅」に「公共交通の結節機能」「地域観光のゲートウェイ機能」「地元農産物の直売所などの地域振興機能」を持たせるとともに、**広域防災拠点**の役割を担う施設として整備を進めます。
(令和5年度供用開始予定)

- 令和2年度は、作成したレイアウトをもとに土木施設や建築物の**基本・実施設計**を実施します。
- 周辺観光施設との連携策を具体化します。

(仮称)中町「道の駅」周辺構想



©OpenStreetMap contributors

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
144	—

(30) 自転車周遊環境整備

これまで

広域的な周遊観光を促す環境づくりを推進するため、「ならクル」を整備してきました。



成果

令和元年度末までに約40kmの整備が完了。
本年8月に大和郡山市長安寺町～額田部北町
で新たに供用開始。

もっと良くするために

京奈和自転車道と関連自転車道の整備を推進します。

○「京奈和自転車道」(総延長180km)の県内部分(75km)の整備(令和2年度概成)

○関連自転車道「ならクル」と連携した自転車利用ネットワークの構築((仮称)世界遺産周遊サイクルルート)と自転車利用環境(案内サインの充実、マップ作成)の整備

【整備した京奈和自転車道の利用状況】



▲奈良市内



▲大和郡山市内



▲広陵町内

令和2年度予算(百万円)	
当初予算	補正予算
546	—